

モルディブ国

マレ第6初等学校施設建設計画

基本設計調査報告書

平成9年12月

JICA LIBRARY



J 1141759(9)

国際協力事業団  
株式会社 毛利建築設計事務所

調無二

CR(3)

97-230







1141759(9)

モルディブ国

# マレ第6初等学校施設建設計画

基本設計調査報告書

平成9年12月

国際協力事業団  
株式会社 毛利建築設計事務所

## 序文

日本国政府は、モルディブ共和国政府の要請に基づき、同国のマレ第6初等学校施設建設計画にかかる基本設計調査を行うことを決定し、国際協力事業団がこの調査を実施いたしました。

当事業団では、平成9年7月28日から8月24日まで基本設計調査団を現地に派遣いたしました。

調査団は、モルディブ国政府関係者と協議を行うとともに、計画対象地域における現地調査を実施いたしました。帰国後の国内作業の後、平成9年10月12日から10月21日まで実施された基本設計概要書案の現地説明を経て、ここに本報告書完成の運びとなりました。

この報告書が、本計画の推進に寄与するとともに、両国の友好親善の一層の発展に役立つことを願うものです。

終りに、調査にご協力とご支援をいただいた関係各位に対し、心より感謝申し上げます。

平成9年12月

国際協力事業団  
総裁 藤田公郎

## 伝達文

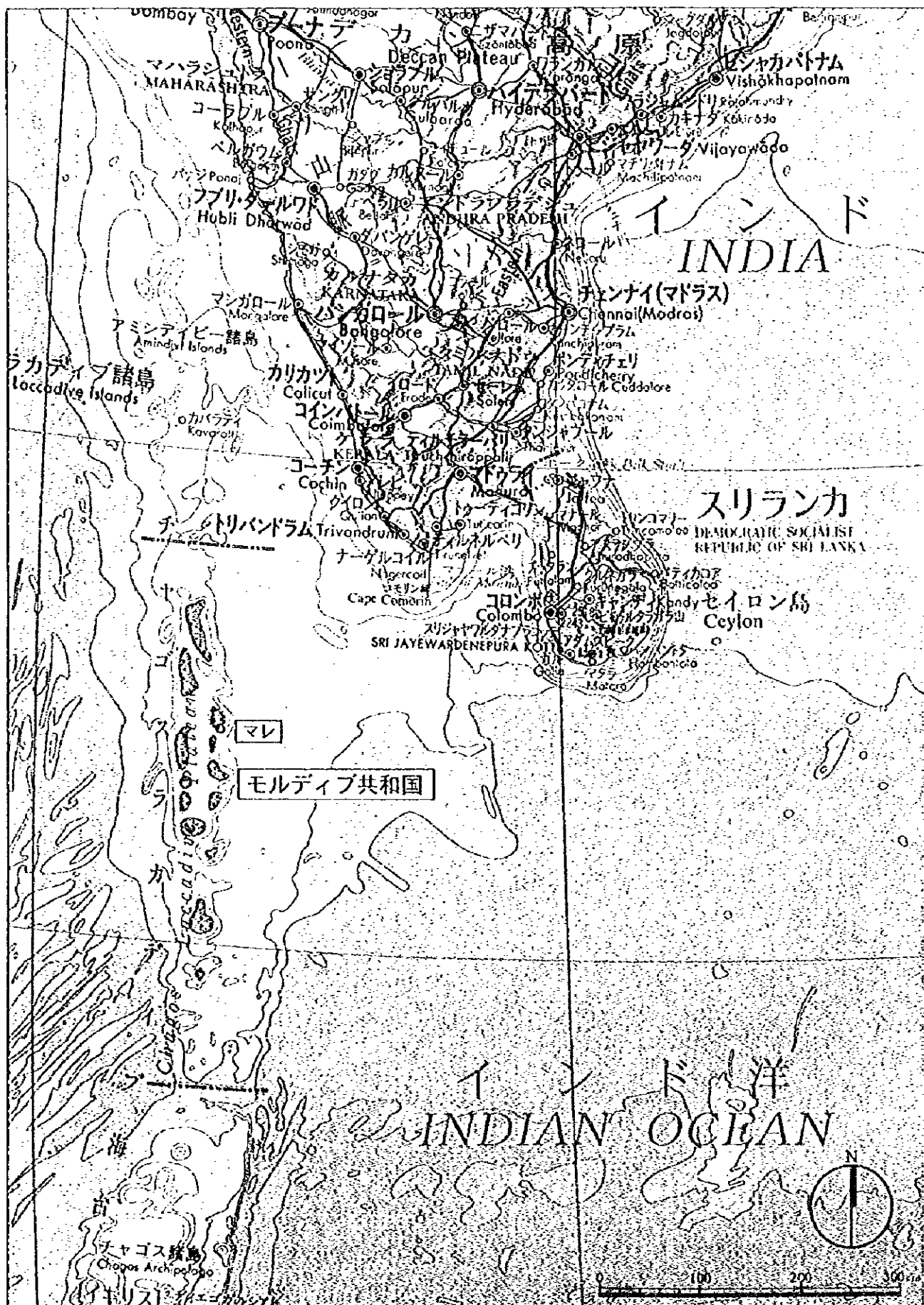
今般、モルディブ共和国におけるマレ第6初等学校施設建設計画基本設計調査が終了いたしましたので、ここに最終報告書を提出いたします。

本調査は、貴事業団との契約に基づき弊社が、平成9年7月15日より平成9年12月10日までの5ヶ月にわたり実施いたしてまいりました。今回の調査に際しましてはモルディブ国の現状を十分に踏まえ、本計画の妥当性を検証するとともに、日本の無償資金協力の枠組みに最も適した計画の策定に努めてまいりました。

つきましては、本計画の推進に向けて、本報告書が活用されることを切望いたします。

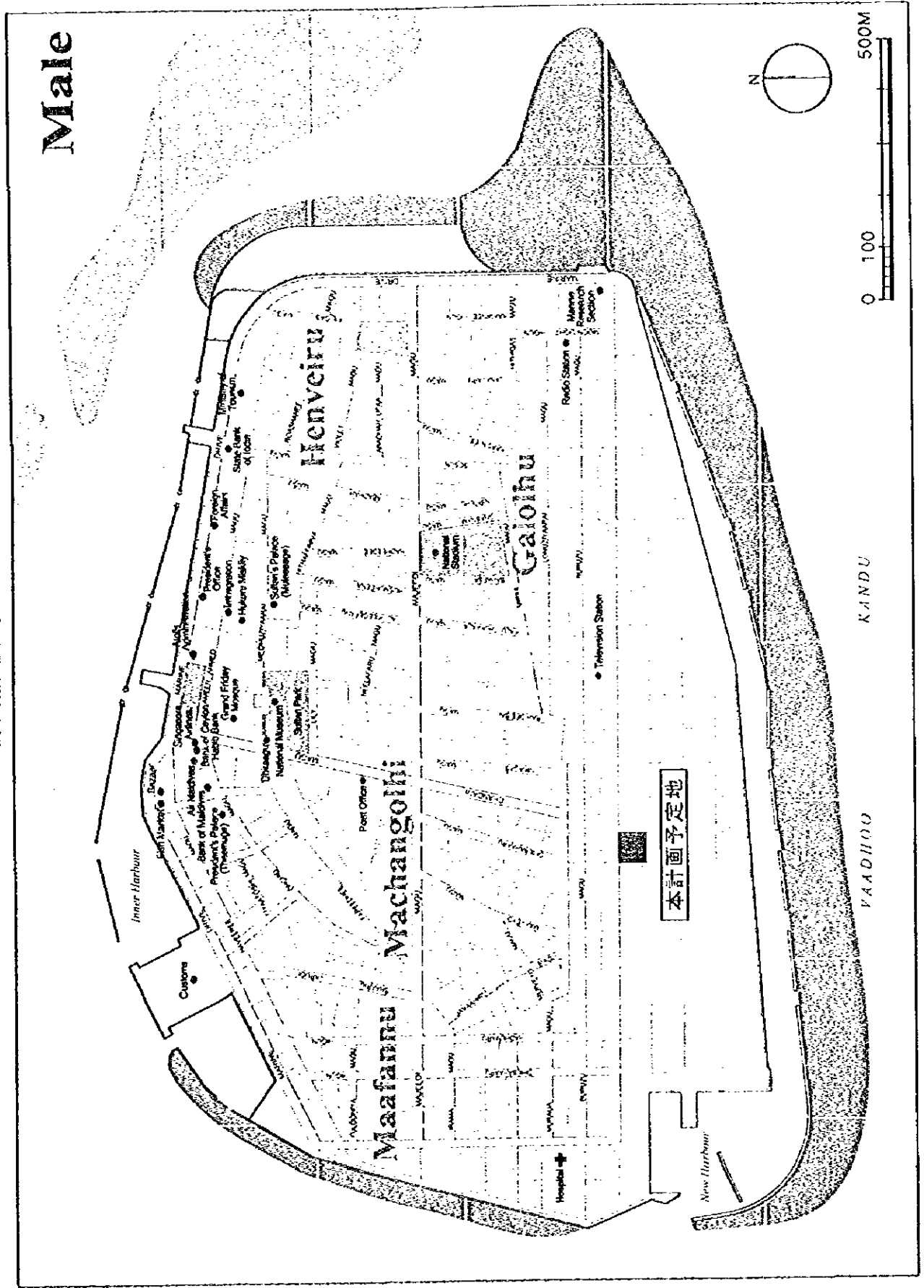
平成9年12月10日  
株式会社 毛利建築設計事務所  
マレ第6初等学校施設建設計画  
基本設計調査団  
業務主任 田中 研一

モルディブ共和国 位置図

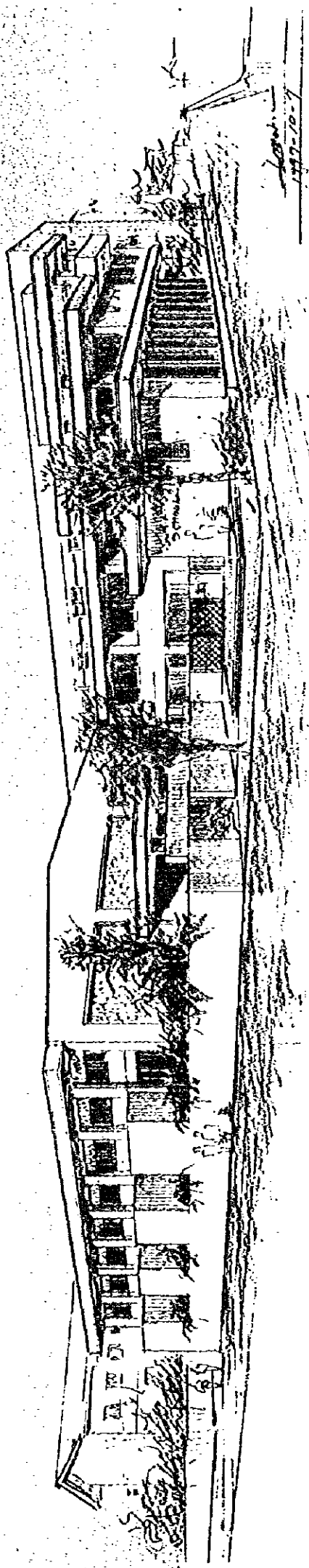




計画敷地位置図



透视图



## 略語集

|        |   |                 |
|--------|---|-----------------|
| AEC    | Atoll Education Centre                        | アトール教育センター      |
| CRLC   | Community Resource Learning Centre            | 地域学習センター        |
| DEEC   | Distance Education English Centre             | 英語放送教育          |
| DER    | Department of External Resources              | 対外援助局           |
| DM     | Dhivehi Medium                                | デイベヒ語           |
| DPE    | Department of Public Examinations             | 公共試験局           |
| EDC    | Education Development Centre                  | 教育開発センター        |
| EPSS   | English Preparatory and Secondary School      | 英語予備中等学校        |
| GCE    | General Certificate of Education              | 一般教育終了証書        |
| GDP    | Gross Domestic Product                        | 国内総生産           |
| HDI    | Human Development Index                       | 人間開発指標          |
| HSC    | Higher Secondary School Certificate           | 後期中等学校終了証書      |
| IDB    | Islamic Development Bank                      | イスラム開発銀行        |
| IHCS   | Institute for Hotel and Catering Services     | ホテルレストラン従事者養成機関 |
| IHS    | Institute for Health Sciences                 | 公共医療従事者養成機関     |
| ILO    | International Labour Organization             | 国際労働機構          |
| I TE   | Institute for Teacher Education               | 教員訓練機関          |
| JSC    | Junior School Certificate                     | 中学校終了証書         |
| MES    | Male English School                           | マレ英語学校          |
| MOAA   | Ministry of Atolls Administration             | アトール行政管理省       |
| MOE    | Ministry of Education                         | 教育省             |
| MOFT   | Ministry of Finance and Treasury              | 大蔵省             |
| MOPW   | Ministry of Public Work                       | 公共事業省           |
| NFEC   | Non-Formal Education Centre                   | 社会教育センター        |
| NPEC   | National Primary Education Curriculum         | 国家初等教育カリキュラム    |
| OPEC   | Organization of Petroleum Exporting Countries | 石油輸出国機構         |
| Rf     | Rufiyaa                                       | ルフィア (モルディブ通貨)  |
| SEC    | Science Education Centre                      | 理科教育センター        |
| SSC    | Secondary School Certificate                  | 中等教育終了証書        |
| SSS    | Southern Secondary School                     | 南部地域中等学校        |
| STE    | Secondary Teacher Education                   | 中等学校教員訓練        |
| UKG    | Upper Kindergarten                            | 幼稚園 (年長)        |
| UNICEF | United Nations Children's Fund                | ユニセフ            |
| UPE    | Universal Primary Education                   | 初等教育の完全普及       |
| VTC    | Vocational Training Centre                    | 職業訓練センター        |
| WB     | World Bank                                    | 世界銀行            |



## 要 約

モルディブ国はインド洋上、スリランカの南西約 675km に点在する二重鎖状の珊瑚環礁島嶼よりなっている。環礁及び島は南北約 754km、東西約 118km にわたり、島々を形成する島嶼、珊瑚環礁の数は 1,196、国土面積は約 298 k m<sup>2</sup>である。各島の大きさは約 100 m<sup>2</sup> ~ 2 k m<sup>2</sup>でいずれも海拔 2m 程度、人口約 24 万人（1995 年時点）が 200 余りの島に居住しており、面積約 2 k m<sup>2</sup>余りの首都マレ島には全人口のおよそ 4 分の 1 に当たる約 6.3 万人が居住している。

モルディブに義務教育制度はないが、モ政府は 1980 年に基礎教育計画を策定し、初等教育拡充、識字教育をすすめ、初等教育のグロス就学率 134 %（1996 The Europa Publication）、非識字率 7 %（1996 WB）を達成した。初等教育の拡充は、引き続き最重要課題として位置づけられており、1997-1999 第 5 次国家開発計画及び、1996-2005 年教育マスタープランにおいて、教育の質的向上とともに、2000 年までに現行の 5-5-2 制をすべて 7-3-2 制に変更し、初等教育を 7 年間に延長することを目標としている。

マレ島においては、他の地方環礁島に比較して、教育環境は格段に充実している。公立初等学校は現在 4 校あり、このうち第 4 初等学校は 87 年度無償資金協力により建設されている。94 年の統計によるとマレ島の公立初等学校 4 校の児童数は約 7,500 人（1-5 年）であるが、年間 3 % という人口増加及び初等教育期間の延長に対応するため、さらに 2 校の初等学校建設が必要であると算定されている。このうち第 5 初等学校は IDB の資金により建設される計画であり、日本には第 6 初等学校の施設建設及び機材調達のための無償資金協力が要請された。

我が国政府は、モルディブ国政府の要請内容を検討した結果、要請されているマレ第 6 初等学校施設建設計画について基本設計調査の実施を決定し、国際協力事業団が 1997 年 7 月 28 日から 8 月 24 日まで基本設計調査団を派遣した。調査団は教育省と要請内容について協議すると共に、公共事業建設省等他の関連機関の担当者とも面談し、基本設計に必要な資料・情報を収集した。調査団は現地調査結果に基づき本計画の必要性と妥当性、計画内容及び規模の妥当性、運営・維持管理体制等について検討した。更に帰国後、これらの検討を踏まえて最適な施設内容・規模の設定と基本設計を行い、最適な機材を選定し、概算事業費を積算した。これらの基本設計の概要をとりまとめ、1997 年 10 月 12 日から 10 月 21 日にかけて現地説明を行った。

モルディブ国政府からの当初要請は、普通教室 36 教室に美術、音楽、理科等の特別教室、講堂、体育館、管理諸室を中心とするものであったが、現地調査時にモルディブ国より内容の訂正があり、これに従い普通教室数は 35 教室に減じ、また当初要請されていなかった視聴覚室が追加された。基本設計の結果、要請内容のうちコンピューター室については、コンピューター実習を伴う授業がカリキュラムにも教員養成所の訓練にも含まれておらず、具体的な将来計画も明かでないため本計画の対象から外した。体育館については利用率の観点から、要請の二階建てでなく一階建てとして計画した。

施設は現地において一般的な鉄筋コンクリート造とし、敷地条件と配置・平面計画から地上4階建てとした。普通教室は1クラス30人を標準として、モ側が必要面積として算定した6m×8mの48㎡を基本とし、他の諸室については使用人数、使用形態、家具配置により設定した。設備は照明器具、コンセント、天井扇等の電気設備、給排水や便所、換気等の機械設備を供与する。

施設の各所要室、規模、使用目的、対象人員を下表に示す。

表-1 計画諸室・室面積

| 室名       | 数  | 計画面積<br>(㎡) | 備考(付属室等)      |
|----------|----|-------------|---------------|
| 一般教室     | 35 | 1,716.39    | 一般授業(7学年×5教室) |
| 美術工作室    | 1  | 90.23       | 準備室を含む        |
| 音楽室      | 1  | 90.23       | 準備室を含む        |
| 理科室      | 1  | 90.23       | 準備室を含む        |
| 視聴覚室     | 1  | 90.23       | 準備室を含む        |
| 図書室      | 1  | 100.51      |               |
| 体育館      | 1  | 573.75      | ステージ、倉庫       |
| 一般事務室    | 1  | 132.78      | 事務長室、印刷室、給湯室  |
| 会議室      | 1  | 20.48       |               |
| 校長室、副校長室 | 1  | 43.79       | 秘書室、校長用トイレ    |
| 教職員室     | 1  | 169.49      | 教材庫、休憩室       |
| 主任室      | 1  | 50.89       |               |
| 相談室      | 1  | 11.38       |               |
| 保健室      | 1  | 14.03       |               |
| 倉庫       | 1  | 38.62       | 体育用倉庫、一般倉庫    |
| 祈祷室      | 1  | 53.02       |               |
| 便所       | 11 | 300.62      | 職員用、生徒用、体育館用  |
| 機械室      | 1  | 31.91       | 給水用ポンプ用、電気機械室 |
| 廊下等      | —  | 1,847.37    | 廊下、階段、ホール等    |
| 合計       |    | 5,467.95    |               |

機材に関しては、学校運営に最低限必要と考えられる各教科の学習に必要な教育機材、教育家具・備品を本計画の対象とした。カリキュラムや教科書の内容に沿っていないもの、教員養成所の訓練内容に含まれていないものは対象外とした。その結果以下の教育機材、教育家具・備品を計画対象とした。

①教育機材

表-2 教育機材リスト

|      |   |
|------|---|
| 理科機材 | 温度計、虫眼鏡、顕微鏡、フラスコ、ピーカー、試験管、バネ計り、電流計、電圧計、分子モデルセット、方位磁石、他      |
| 社会機材 | 地球儀、世界地図、透視天体図  |
| 算数機材 | 面積基本平方板、体積基本単位学習器、大型分度器、大型定規、大型コンパス、分数説明器、自動上皿秤、教授用時間スタンプ、他 |
| 体育機材 | 床マット、スプリングボード、跳び箱、平均台、サッカーゴール、バレーボール支柱、バスケットボールゴール、ボールかご、他  |
| 美術機材 | 画板、展示用ボード   |
| 音楽機材 | ピアノ、ドラム、ハーモニカ、アコーディオン、シンバル、トライアングル、ベル、タンバリン、他               |
| 保健機材 | 視力検査器、座高計、児童体重計、身長計、血圧計、聴診器、担架                              |

②教育家具・備品

表-3 教育家具・備品リスト

|      |   |
|------|---|
| 普通教室 | 生徒用机、生徒用椅子、生徒用収納棚、教師用椅子、教師用机、教師用収納棚、黒板、掲示板                    |
| 特別教室 | 生徒用机、生徒用椅子、教師用椅子、教師用机、収納棚、黒板、掲示板、デモンストレーションテーブル、洗浄用カウンター・シンク他 |
| 視聴覚室 | 生徒用机、生徒用椅子、教師用机、教師用椅子、収納棚、黒板、掲示板、暗幕、ビデオプロジェクター、スクリーン          |
| 図書室  | 読書用テーブル、読書用椅子、書棚、司書用机、司書用椅子、収納棚、マガジンラック、カウンター                 |
| 体育館  | 折りたたみ椅子、演台、舞台上椅子収納トレイ、縦帳、他                                    |
| 事務室  | 一般事務机、事務用椅子、収納棚、職員用テーブル、職員用椅子、ホワイトボード                         |
| 教職員室 | 職員用テーブル、職員用椅子、教職員用ロッカー 他                                      |

本計画の実施に必要な事業費の総額は7.57億円（日本側負担分：7.52億円、モルディブ国側負担分：0.05億円）と見込まれ、事業期間は詳細設計と業者選定に3ヶ月、施工に12ヶ月を必要とする。

本計画の実施により以下の効果が期待できる。

1) 初等学校における教室不足緩和と教育の質の向上

教育省が1999年に初等教育期間を現行の5年制から7年制へと延長した場合、現行の二部制の継続を前提としても、マレ島の初等学校の教室数は、56教室が不足する。本計画の実施により35教室が新設されることで、不足教室数の62.5%を補うことが出来る。

## 2) 中等学校における過密状況の緩和と後期中等教育への裨益効果

マレ島には公立の前期中等学校が 2 校あり後期中等学校が 1 校ある。前期中等学校(6～10年生)は 2 校とも 50 教室をこえるマンモス校で二部制で運営されているが、何れも過密状態が続いている。本計画の実施により初等学校の教室数不足が緩和され、1999 年に初等教育期間が 7 年制へ移行した場合、公立中等学校の 3115 人の生徒が初等学校に組み込まれる。これにより前期中等学校において現在 35.7 人/クラスである生徒数の過密状態が緩和されると共に、前期中等学校の就学者数の拡大を可能とする。また余裕の生じた前期中等学校の教室の一部を後期中等学校(11,12 年生)として使用することで、現在施設不足等の理由により就学者数が 400 名程と限りのある後期中等学校の就学者数の拡大を計る予定である。

## 3) 間接効果

マレ島には敷地不足から地域住民の利用できる公共施設が少ないため、島内の各公立学校では放課後や休日に体育館、教室、グラウンドといった学校施設を一般に開放している。本計画施設も完成後他校と同様に一般に開放されることにより、就学児童以外の地域住民に対しても、スポーツ、社会教育等の場を提供するという間接効果が期待できる。

以上より、本計画には十分な裨益効果が期待できるとともに、我が国の無償資金協力案件としての要件を満たしていることが明らかであり、その実施の意義は大きい。以下の点が改善されれば、本計画は円滑に実施され、より効果的に教育の充実に貢献できる。

### 1) モルディブ国側の負担工事の確実な実施

本計画は両国の協力の下に実施されるものであり、モルディブ国側の工程に沿った負担工事の確実な実施が本計画には不可欠である。特に計画予定地の既存施設の撤去、整地は遅滞なく実施されなくてはならない。このためには両国が密接に協議をおこない、モルディブ国側の工程を度々確認する必要がある。

### 2) 教職員の確保

本計画で建設される施設が十分に活用されるためには、校長や副校長を含めた教員と事務管理の職員の確保が確実になされなければならない。教育省は 1-5 年生の教員については HIE の登録者からリクルートし、6-7 年の教員については現在の 2 校の前期中等学校から初等学校へ移す計画である。また教育省は、施設を運営する校長や副校長を任命したり、事務管理の職員も雇い入れなければならない。施設の十分な活用のためには、これらの計画が確実に実行されなければならない。

### 3) 引渡し後の適切な運営・維持管理

初等学校の予算には維持管理費が約 1 %程度含まれており、通常の掃除人の他に臨時に掃除人が雇われており、各学校では十分に維持管理を行っている。しかし地域コミュニティによる維持管理への参加や、教育の一貫として生徒の維持管理



への積極的な参加を促進することが望まれる。

また施設を十分に活用し、円滑な授業を実施するために、必要な消耗品や事務用品をモルディブ政府が速やかに調達し配備することが望まれる。

#### 4) 6 - 7年における男子生徒と女子生徒の問題

現在モルディブ国では6年生から男女別に教育を実施するという方針があり、児童は5年間の初等教育を終えると男子校と女子校に分かれて中等教育を受けている。本計画では6年と7年生が小学生となり男女共学となるため、8年生以上に対する男女別教育実施へと方針を変更するためのモルディブ政府の速やかな対処が望まれる。



## 目 次

序文

伝達文

位置図／透視図／写真

略語集

要約

|       |                |    |
|-------|----------------|----|
| 第1章   | 要請の背景          | 1  |
| 第2章   | プロジェクトの周辺状況    |    |
| 2-1   | 当該セクターの開発計画    |    |
| 2-1-1 | 上位計画           | 2  |
| 2-1-2 | 財政状況           | 3  |
| 2-2   | 他の援助国、国際機関等の計画 | 4  |
| 2-3   | 我が国の援助実施状況     | 4  |
| 2-4   | プロジェクト・サイトの状況  |    |
| 2-4-1 | 自然条件           | 4  |
| 2-4-2 | 社会基盤整備状況       | 5  |
| 2-5   | 環境への影響         | 6  |
| 第3章   | プロジェクトの内容      |    |
| 3-1   | プロジェクトの目的      | 7  |
| 3-2   | プロジェクトの基本構想    | 7  |
| 3-3   | 基本設計           |    |
| 3-3-1 | 設計方針           | 30 |
| 3-3-2 | 基本計画           | 33 |
| 3-4   | プロジェクトの実施体制    |    |
| 3-4-1 | 組織             | 61 |
| 3-4-2 | 予算             | 62 |
| 3-4-3 | 要員・技術レベル       | 63 |

## 第4章 事業計画

### 4-1 施工計画

|       |          |    |
|-------|----------|----|
| 4-1-1 | 施工方針     | 64 |
| 4-1-2 | 施工上の留意事項 | 65 |
| 4-1-3 | 施工区分     | 65 |
| 4-1-4 | 施工監理計画   | 67 |
| 4-1-5 | 資機材調達計画  | 68 |
| 4-1-6 | 実施工程     | 69 |
| 4-1-7 | 相手国側負担事項 | 69 |

### 4-2 概算事業費

|       |           |    |
|-------|-----------|----|
| 4-2-1 | 概算事業費     | 71 |
| 4-2-2 | 運営維持・管理計画 | 72 |

## 第5章 プロジェクトの評価と提言

|     |                    |    |
|-----|--------------------|----|
| 5-1 | 妥当性にかかる実証・検証及び裨益効果 | 75 |
| 5-2 | 技術協力・他ドナーとの連携      | 76 |
| 5-3 | 課題                 | 76 |

### [資料]

|    |                      |      |
|----|----------------------|------|
| 1. | 調査団員氏名、所属            | 資-1  |
| 2. | 調査日程                 | 資-2  |
| 3. | 相手国関係者リスト            | 資-3  |
| 4. | 当該国の社会・経済事情          | 資-5  |
| 5. | その他データ（ポーリング調査・測量結果） | 資-7  |
| 6. | 参考資料リスト              | 資-14 |

# 第 1 章 要請の背景

## 第1章 要請の背景

モルディブ国はインド洋上、スリランカの南西約 675km に点在する二重鎖状の珊瑚環礁島嶼よりなっている。環礁及び島は南北約 754km、東西約 118km にわたり、島々を形成する島嶼、珊瑚環礁の数は 1,196、国土面積は約 298 k m<sup>2</sup>である。各島の大きさは約 100 m<sup>2</sup>～ 2 k m<sup>2</sup>でいずれもが海拔 2m 程度、人口の約 24 万人（1995 年時点）が 200 余りの島に居住しており、面積約 2 k m<sup>2</sup>余りの首都マレ島には全人口のおよそ 4 分の 1 に当たる約 6.3 万人が居住している。

モルディブに義務教育制度はないが、モ政府は 1980 年に基礎教育計画を策定し、初等教育拡充、識字教育をすすめる、初等教育のグロス就学率 134 %（1996 The Europa Publication）、非識字率 7 %（1996 WB）を達成した。初等教育の拡充は、引き続き最重要課題として位置づけられており、1997-1999 第 5 次国家開発計画及び、1996-2005 年教育マスタープランにおいて、教育の質的向上とともに、2000 年までに現行の 5-5-2 制をすべて 7-3-2 制に変更し、初等教育を 7 年間に延長することを目標としている。

マレ島においては、他の地方環礁島に比較して、教育環境は格段に充実している。しかしマレ島は 80 年代以降人口が急増し、今後も年間 3 % という人口増加率により更なる人口の増大が予想される。教育省の統計によればマレ島での一年生の入学者数は近年、年間平均で 2.2% ずつ増えている。

マレ島には現在公立初等学校が 4 校、中等学校は 2 校あり、このうち第 4 初等学校は 87 年度に日本の無償資金協力により建設されている。下表は各校の教室数を示している。いずれの学校も生徒数に対し敷地が狭く、運動場の大きさも 1500 m<sup>2</sup>～ 1000 m<sup>2</sup>と日本の学校と比べ非常に小さいため、既存校の増築は極めて困難な状況にある。そのためマレ島の各学校では、こうした施設不足、また児童数の増加に対応するため、全校で二部制を実施している。

教育省は児童の自然増加、及び今後 6 年生と 7 年生を基礎教育期間に吸収することによる生徒数の増加で、西暦 2000 年で 58 教室、2004 年で 73 教室の教室不足になるとしている。そのため教育省は更に 2 校の初等学校の新設が必要と算定し、このうち第 5 初等学校を IDB の資金により計画し、日本には第 6 初等学校の施設建設及び機材調達のための無償資金協力を要請した。本計画は、教育省の進めているマレ島における生徒の過密状況の緩和と初等教育の拡張政策に伴う施設拡張政策の一環として位置づけられる。

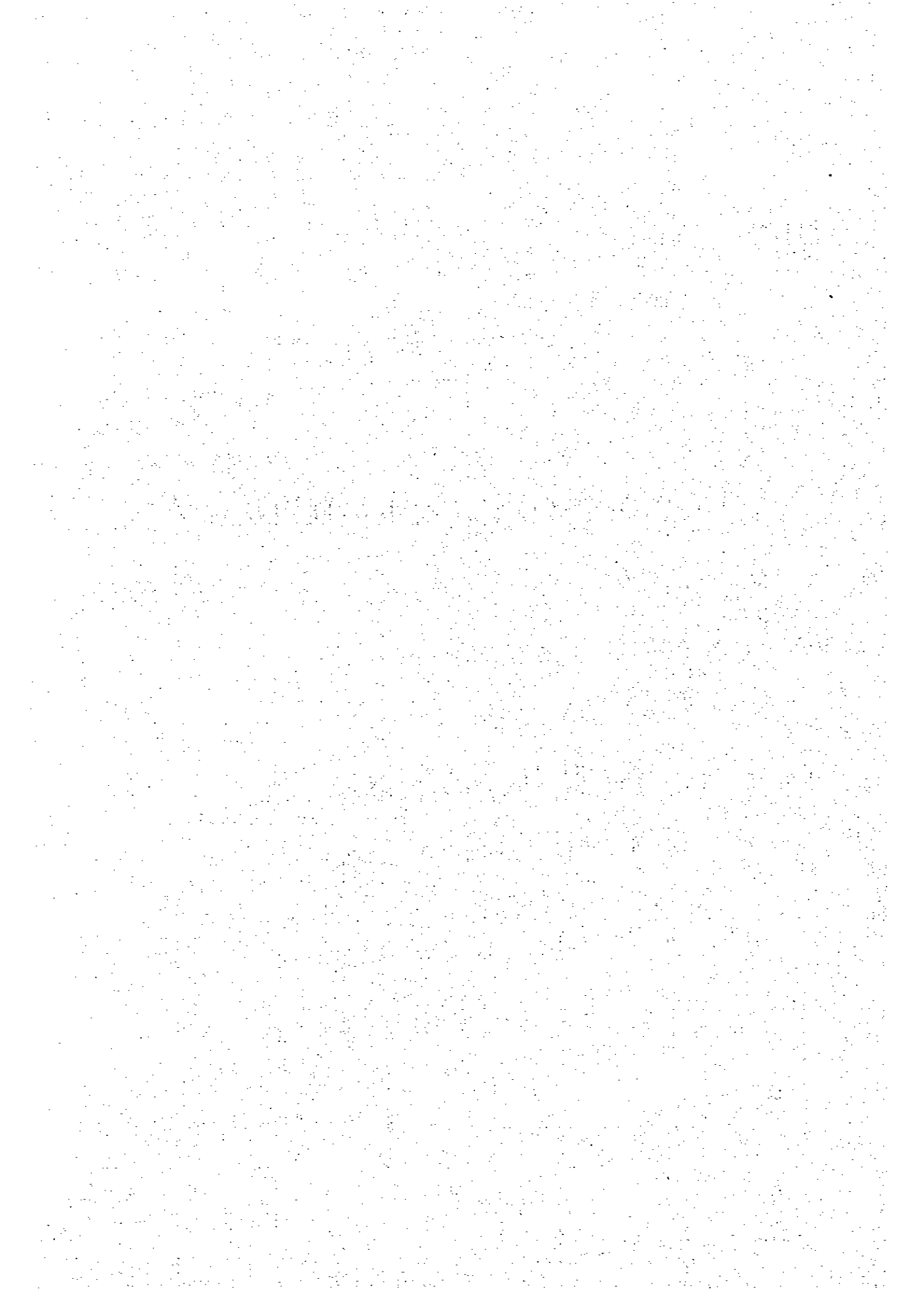
表 1-1 マレ島公立学校の指標

| 学校名            | 生徒数  | 学級数 | シフト  | 教室数 | 運動場の大きさ |
|----------------|------|-----|------|-----|---------|
| イカンガール 小学校     | 2055 | 66  | 2 部制 | 33  | 中       |
| ジャマルティン 小学校    | 1763 | 58  | //   | 30  | 中       |
| タジュティン 小学校     | 1511 | 52  | //   | 29  | 中       |
| カフアス (第 4) 小学校 | 1641 | 56  | //   | 28  | 小       |
| アミヤ 中等学校       | 3311 | 105 | 2 部制 | 53  | 小       |
| マジュイア 中等学校     | 3009 | 102 | //   | 51  | 大       |

出典 教育省 1997 年 3 月

(注) 運動場の大きさ (大) 2000 - 1500 m<sup>2</sup> (中) 1500 - 1000 m<sup>2</sup> (小) 1000 - 500 m<sup>2</sup>

## 第2章 プロジェクトの周辺状況





## 第2章 プロジェクトの周辺状況

### 2-1 当該セクターの開発計画

#### 2-1-1 上位計画

##### (1) 上位計画

モルデブ国では現在、25年間の長期的展望に立った長期国家計画「国家ビジョン2020」を作成中である。短期の国家開発計画としては1981年以降3ヶ年単位の国家開発計画が策定されており、現在は第5次国家開発計画（1997年～1999年）を国家上位計画として掲げている。

第5次国家計画は基本的に第4次国家計画の内容を引き継いでいるが、「国民のための適切な行政」、「環境保護」及び「地域開発」といった3項目の開発目標が新たに追加され、以下の6項目を重要目標として取り上げている。

- 1) 適切な経済成長により生活水準と生活の「質」の持続的向上を図る。
- 2) アトール開発により自然資源の利用、雇用機会や収入、住宅とインフラ等基盤施設、教育機会や保健衛生サービス等における地域格差を是正する。
- 3) 国民が開発の恩恵を平等にうけることができるように、アトールの島民の開発に取り組む。
- 4) 天然資源を持続的に利用できるように適切な開発と管理を図る。
- 5) 効果的行政により、よりよい統治をおこなう。
- 6) 文化、社会、宗教的価値に基づき国家的・社会的統一を強化する。

さらに第五次国家計画は、上記の目標を達成するために以下の3項目を国家優先課題としている。

- 1) 人的資源の開発
- 2) 開発のためのインフラ整備、政策、条例等の適切な組織化とその運用
- 3) 適切な居住計画

人的資源開発では、人口問題と教育が取り扱われている。人口問題では2.8%と高い人口増加率を抑制していくこと、また教育関連では教育制度の拡充を行いより多くの雇用機会をもつために個々の技能を高めることが重要課題とされている。

##### (2) 教育分野の目標

第五次国家開発計画において教育分野は、生活水準の向上と雇用機会促進の関連事項として捉えられている。西暦2000年までの教育の質の改善、基礎教育の完全普及、さらに職業教育、高等教育や教員の養成の促進等が述べられている。また

同計画では教育分野における最重要課題として、西暦 2000 年までに初等教育期間を 7 年制へ延長し（現行は 5 年制）、モルディブ国の子供全員がこの初等教育を終了することとしている。国家開発計画では教育分野の初等及び中等教育に関して、以下の 8 項目の目標が掲げられている。

1. 基礎教育の完全普及
2. 中等教育での就学率の向上
3. カリキュラムの改定と教科書の作成
4. 英語教育の質の改善を図る
5. 教育管理制度の向上を図る
6. 理科・科学教育の促進
7. 公共試験局の強化
8. イスラム教育の促進

上記基礎教育の完全普及に関し計画書では、5 年制の初等教育はほぼ達成したと評価しており、今後初等教育を 7 年制へと移行すること、初等教育就学者数の急激な増加に対応して 18 のアトールで 75 の初等学校の増改築やトイレや倉庫を新設すること、マレ島では第 5 と第 6 初等学校を 1997 ～ 99 年の間に建設すること、さらに 8 アトールで 15 初等学校を新設することを具体目標として計画している。

## 2-1-2 財政状況

モルディブ国の経済は、流通関連産業、観光及び漁業に大きく依存している。1995 年の国内総生産のうち流通関連産業が 19.3%、観光産業が 18.4%、漁業が 11.0% の順になっている。過去 10 年間では漁業分野の伸びが鈍っているが、観光と流通関連分野の著しい成長にささえられ平均年間経済成長率は約 8%である。モルディブ政府の統計によれば一人当たりの GDP は 1995 年の現行価格で約 \$ 1,100 である。国際収支（1995）は全てを輸入に頼っていることから貿易収支が 1 億 5000 万ドルの赤字になっているが、最近の観光分野の成長が著しくサービス収支が 1 億 3780 万ドルの黒字となっていることなどから全体で 1530 万ドルの黒字になると見積もられている。主な輸出品は魚のカン詰めや乾燥魚が多くなっている。輸入は砂・砂利・石膏などまた木材や食糧品などである。インフレ率は 91 年から 94 年までの 4 年間は平均して約 17%であったが、95 年には 5.3%と下がっている。財政規模（1995）は、歳入は 2 億 2490 万ルフィア（約 1 億 2 千万ドル）、歳出が 16 億 5430 万ルフィア（約 1 億 4 千万ドル）となり、財政赤字は 2 億 3960 万ルフィア（約 2 千万ドル）に達している。

1997 年度における教育分野全体の予算は 3.59 億ルフィアを計上しており、これは同年度の国家予算（18.9 億ルフィア）に対する歳出の割合は約 19%となっている。教育分野全体の予算の内、教育省の予算は 2.5 億ルフィアを占めている。

世銀による構造調整は行なわれていない。

## 2-2 他の援助国、国際機関等の計画

近年各国際機関、他の援助機関はモルディブ国の教育分野に対し表2-1に示すような援助を行っている。中でも IDB による第5初等学校建設計画は本計画と計画の目的、内容、規模がほぼ同じで、施設の建設も本計画とほぼ同時期になる予定である。

表2-1 国際機関・他の援助機関による教育分野への援助

| 計画名            | ドナー                    | 開始年度    | 期間  | 金額 (US\$)  | 内容                             |
|----------------|------------------------|---------|-----|------------|--------------------------------|
| マレ第5初等学校建設計画   | IDB                    | 1997年   | 3年間 | 未定         | マレ島に35教室の初等学校の建設               |
| アトール学校改善拡充計画   | OPEC                   | 1996年3月 | 2年間 | 2,500,000  | アトールに15校の小学校建設                 |
| 前期中等学校教員訓練計画   | 世界銀行<br>IDB<br>オーストラリア | 1995年5月 | 5年間 | 1,197,800  | 教育養成機関(ITE)に教員養成プログラムの設立       |
| 北部地域中等学校建設計画   | IDB                    | 1995年   | 2年間 | 1,900,000  | 北アトールに16教室の中学校の建設              |
| 第2教育訓練計画       | 世界銀行                   | 1995    | 7年間 | 14,635,000 | 前期のフォローアップ、教員訓練、教員養成等          |
| 教育援助           | UNICEF                 | 1994    | 5年間 | 1,487,000  | アトールに50校の小学校建設、教員訓練、アトールセンター援助 |
| パーティッシュポートナー計画 | イギリス                   | 1995年5月 | 5年間 | 175,758    | イギリス高等教育への留学援助                 |

## 2-3 我が国の援助実施状況

わが国はモルディブ国の教育分野に対し、昭和62年度に無償資金協力として「マレ初等教育学校建設計画」を実施し、学校校舎及び教育機材を整備した。これは「マレ第4初等学校」とされているが、本計画はこれに続くものである。

## 2-4 プロジェクト・サイトの状況

### 2-4-1 自然条件

モルディブ国の気候は熱帯性モンスーン気候に属し、11月から4月にかけて北東季節風、5月から10月にかけて南西季節風がそれぞれ吹く。平均気温は、年中26℃～29℃とほとんど変化は見られず、日中は30℃前後まで気温が上昇し、湿度も80%程度を示す。年間降雨量は約2,000mmで、その大半は雨期である5月から10月

に集中する。降雨のパターンは、熱帯スコールのそれとは異なり、1週間ほど断続するのがこの地域の特徴で、雨期の降雨日数は20日前後である。また、地震とサイクロンの記録は報告されていない。

サイトのあるマレ島における過去5年間の気温、降雨量のデータは以下の通りである。

表2-2 マレにおける年間気温・降雨量

|                        | 年  | 1月    | 2月   | 3月    | 4月    | 5月    | 6月    | 7月    | 8月    | 9月    | 10月   | 11月   | 12月   | 平均    |
|------------------------|----|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 最高<br>平均<br>気温<br>(°C) | 91 | 30.4  | 30.9 | 31.5  | 31.7  | 31.8  | 30.7  | 30.9  | 30.4  | 30.6  | 30.4  | 30.2  | 29.8  | 30.8  |
|                        | 92 | 30.4  | 30.9 | 31.5  | 32.1  | 31.2  | 30.5  | 29.7  | 29.6  | 30.1  | 29.7  | 29.7  | 29.9  | 30.4  |
|                        | 93 | 30.1  | 30.5 | 31.0  | 31.8  | 30.8  | 30.7  | 29.9  | 30.2  | 29.8  | 30.2  | 29.3  | 29.7  | 30.3  |
|                        | 94 | 30.3  | 30.9 | 31.2  | 32.0  | 31.0  | 31.0  | 31.3  | 30.7  | 30.6  | 30.0  | 30.0  | 30.5  | 30.8  |
|                        | 95 | 30.9  | 30.2 | 31.7  | 31.9  | 31.0  | 30.5  | 30.7  | 30.3  | 30.2  | 29.8  | 29.9  | 30.3  | 30.6  |
|                        | 平均 | 25.6  | 25.9 | 26.4  | 26.8  | 26.0  | 26.0  | 25.4  | 25.2  | 25.4  | 25.2  | 25.1  | 25.4  | 25.7  |
| 最低<br>平均<br>気温<br>(°C) | 91 | 25.2  | 26.0 | 26.3  | 27.0  | 26.4  | 26.2  | 26.0  | 25.2  | 26.0  | 25.2  | 25.0  | 24.9  | 25.8  |
|                        | 92 | 25.6  | 25.7 | 26.2  | 26.7  | 25.8  | 25.4  | 23.7  | 24.4  | 25.2  | 25.6  | 24.9  | 25.6  | 25.4  |
|                        | 93 | 25.4  | 25.7 | 26.1  | 26.9  | 25.6  | 26.1  | 24.7  | 25.3  | 24.2  | 24.9  | 24.4  | 25.0  | 25.3  |
|                        | 94 | 25.7  | 26.4 | 26.3  | 26.7  | 25.6  | 25.9  | 26.2  | 25.6  | 25.6  | 24.8  | 25.1  | 26.0  | 25.8  |
|                        | 95 | 26.3  | 25.9 | 27.1  | 26.7  | 26.4  | 26.6  | 26.4  | 25.6  | 26.1  | 25.3  | 26.0  | 25.7  | 26.2  |
|                        | 平均 | 25.6  | 25.9 | 26.4  | 26.8  | 26.0  | 26.0  | 25.4  | 25.2  | 25.4  | 25.2  | 25.1  | 25.4  | 25.7  |
|                        | 年  | 1月    | 2月   | 3月    | 4月    | 5月    | 6月    | 7月    | 8月    | 9月    | 10月   | 11月   | 12月   | 合計    |
| 月別<br>降雨<br>量<br>mm    | 91 | 273.5 | 0.5  | 127.5 | 97.7  | 266.6 | 75.7  | 201.0 | 185.6 | 59.1  | 140.0 | 200.0 | 186.3 | 1,813 |
|                        | 92 | 26.1  | 0.4  | 6.5   | 117.2 | 188.1 | 179.7 | 310.9 | 174.8 | 151.7 | 80.0  | 308.4 | 110.5 | 1,654 |
|                        | 93 | 23.6  | 0.4  | 36.1  | 88.7  | 453.0 | 138.1 | 358.6 | 145.8 | 322.3 | 196.9 | 428.9 | 204.5 | 2,396 |
|                        | 94 | 70.9  | 1.2  | 99.7  | 78.2  | 306.4 | 120.8 | 84.4  | 167.8 | 213.3 | 587.6 | 353.0 | 57.8  | 2,141 |
|                        | 95 | 32.3  | 65.4 | 10.8  | 73.9  | 240.7 | 69.9  | 162.7 | 171.9 | 126.4 | 271.4 | 107.7 | 73.9  | 1,407 |
|                        | 平均 | 85.3  | 13.6 | 56.1  | 91.1  | 291.0 | 116.8 | 223.5 | 169.2 | 174.6 | 255.2 | 279.6 | 126.6 | 1,882 |

出典：Department of Meteorology.

## 2-4-2 社会基盤整備状況

### 1) サイト選定理由

本計画のサイトはモルディブ国政府により選出された。現在計画地は STO (State Trading Organization) の資材置き場となっているが、これの移転及び既存施設の撤去に関しては既に決定済みで、平成9年末には移転・撤去が完了する予定である。サイトはマレ島の南部埋め立て地帯に位置するが、島内の何れの箇所からもサイトへの通学が可能で、敷地形状や大きさ等施設建設に問題がないこと、またインフラも完備されていることからサイトの選定は妥当と考えられる。

### 2) サイト形状

サイト形状は約 60 m 角の正方形で、面積は約 3,600 m<sup>2</sup> のほぼ平坦な土地である。サイトの東西北側と三方を道路に接しており、これら隣接道路との高低差も無い。

### 3) インフラ整備状況

サイトに隣接する3つの道路には各々280mmの市水の給水管が埋設されている。これは上下水道局により毎日独自の検査が実施されており、マレ島では一般的に飲料水として使われている。現在マレでは1日当たり1800トンの水道水が消費されているが、上下水道局は1日2900トンの水道水が生産能力であり、また20000トンのタンクを有する。

下水道は上水と同様サイトの隣接道路に埋設されている。しかしマレの上下水道局は今のところ下水処理施設を完備しておらず、汚水・雑排水はマレ島から300m離れた沖合に未処理のまま放流されている。上下水道局では数年中にこうした処理施設を完備したいとしているが、具体的な計画の日処は立っていない。

電力供給についてはサイトの北側、東側の隣接道路に配電線が設けられており、サイト南側隣地である青年スポーツ省の体育館と共同の受電設備がサイト南側に設置されている。現在マレ島には2カ所の発電施設があり、新しいものは13.5MVAの発電能力を有し、古い発電施設はこれのバックアップとして使用されている。

### 4) 地盤状況

計画地は海岸近くの埋め立て地で、敷地は200フィート(約60m)角の正方形をした平坦な土地である。ボーリング調査は敷地の4隅で計4カ所、深さは約10mで各1m毎に標準貫入試験(SPT)を実施した。標準貫入試験のN値は、GL-1m付近で6~18、深度を増す毎に漸増し、深度2mで10~21、3mで10~26、4m以深で概ね20~30の値を示している。

土壌を構成する土質は風化したサンゴを主体とするサンゴ礫(れき)を混入する砂質土で、中位からやや締まった状態にある。土壌構成は各ボーリング孔ともに大差はなく、埋め立て地に見られる瓦礫や、腐喰物等の混入は見られない。またボーリング孔の孔内水位はGL-0.4~0.9mと水位は浅い。

## 2-5 環境への影響

本計画敷地はマレ島南部の埋め立て地域に位置する。敷地は南北東の三方を道路に囲まれ北側は住宅地、東側は大蔵省庁舎、南側は青年スポーツ省の体育館、西側は広大なスタジアムがある。敷地の三方に道路を有する事、南側体育館も敷地境界より距離が確保されていること、また三方道路の何れもインターロッキングにより舗装されていることから、工事用のアクセスに支障は無く、また工事による周辺への影響は予想されない。

先述の通り、本計画施設で発生する汚水の処理については、公共下水道を介し未処理のまま海中に放流され、環境への影響が懸念される。しかし本計画施設から排出される汚水の量は、マレ島の全汚水量に対して微少な事から、本計画の実施が直接的に環境に影響を与えるとは考えにくい。マレ島の汚水処理システムの早急なる改善が望まれる。

## 第3章 プロジェクトの内容

## 第3章プロジェクトの内容

### 3-1 プロジェクトの目的

第5次国家開発計画において教育分野の開発は「民生の生活水準向上」を達成するために必要な要因と位置づけられている。教育マスタープランでは「基礎教育の完全普及」を目標として「2000年までに基礎教育期間を7年生制に延長すること」を、また「人材の養成」を目標として「基礎教育と中等教育の就学数を増やすこと」を重点課題として掲げている。しかしモルディブ国全般、特に全人口の約25%を占める首都マレ島において、人口増加に伴う初等学校施設不足はこうした目標達成の障害となっている。

これに対し同国政府はマレ島に2校の小学校を新設し、現在の5年制初等教育を7年制とすることで基礎教育期間の延長を実現しようと計画している。初等学校の教室不足が緩和されるのみでなく、6～7学年を吸収することにより中等学校の入学可能な生徒数も増加し、初等教育のみでなく、中等教育に対する裨益効果も期待できる。また、6～7学年のカリキュラム実施のために必要となる特別教室を整備し、初等教育の質的向上への貢献が期待される。

### 3-2 プロジェクトの基本構想

#### 3-2-1 学区の考え方

以前モ国ではマレ島の4つの行政地区に各1校の小学校を設け、当該行政地区を1学区というコンセプトを持っていた。下表3-1はマレ島の各行政地区の初等学校の適齢児童数を示す。

表3-1 マレ島各行政地区の初等学校就学適齢児童数（1995年）

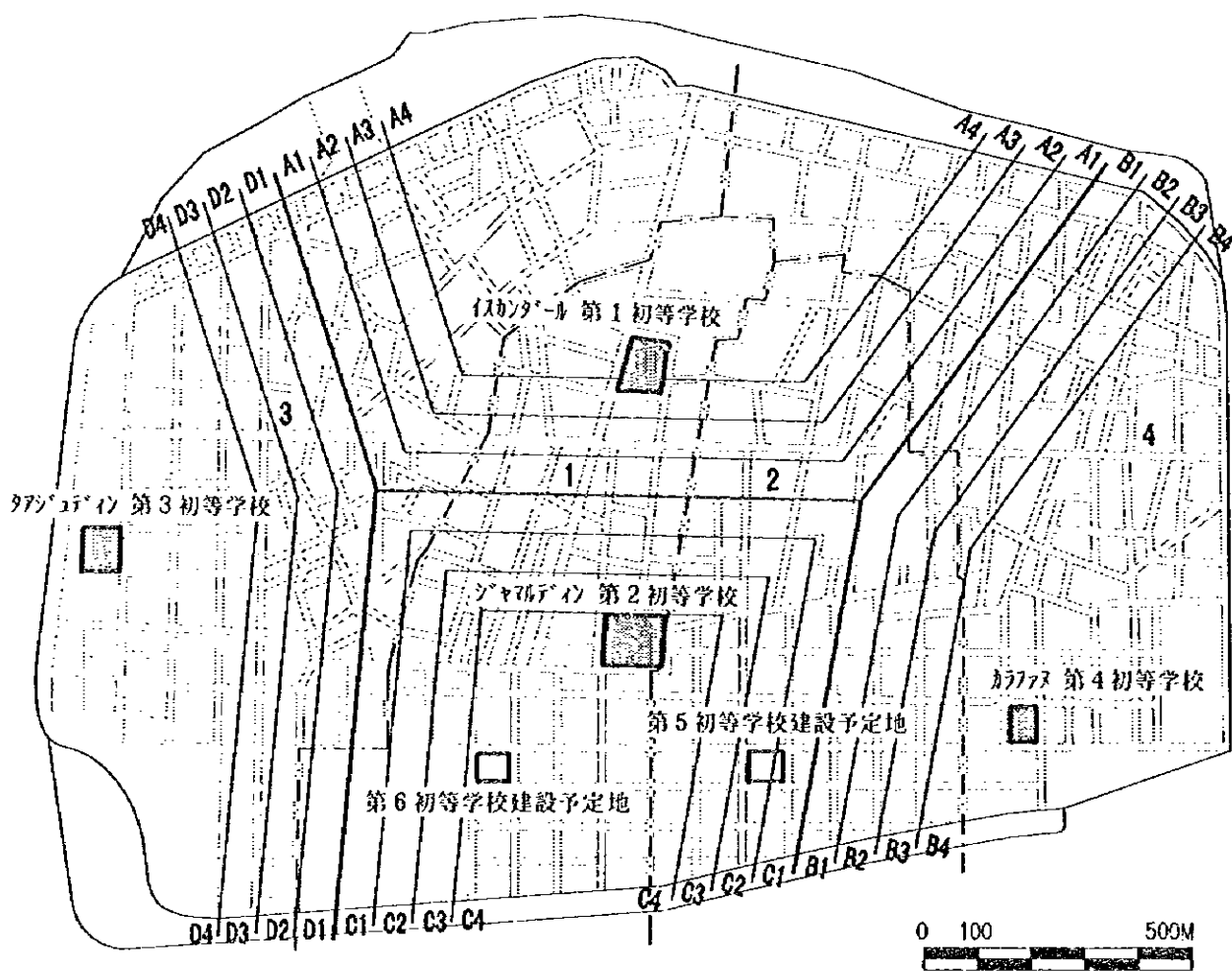
| 年齢 | 行政地区名    |     |         |     |               |     |          |     | 合計     |
|----|----------|-----|---------|-----|---------------|-----|----------|-----|--------|
|    | Henveiru |     | Galolhu |     | Machchangolhi |     | Maafannu |     |        |
|    | 男子       | 女子  | 男子      | 女子  | 男子            | 女子  | 男子       | 女子  |        |
| 6  | 171      | 178 | 129     | 136 | 130           | 104 | 225      | 207 | 1,280  |
| 7  | 199      | 162 | 169     | 152 | 152           | 129 | 224      | 215 | 1,402  |
| 8  | 221      | 198 | 160     | 149 | 147           | 163 | 260      | 246 | 1,544  |
| 9  | 196      | 226 | 167     | 156 | 159           | 151 | 260      | 243 | 1,558  |
| 10 | 242      | 190 | 173     | 119 | 146           | 159 | 271      | 240 | 1,540  |
| 11 | 196      | 190 | 172     | 179 | 154           | 159 | 240      | 253 | 1,543  |
| 12 | 230      | 203 | 151     | 162 | 152           | 157 | 280      | 286 | 1,621  |
|    | 2,802    |     | 2,174   |     | 2,062         |     | 3,450    |     | 10,488 |

出典：1995年国税調査

しかし近年は各行政地区とは無関係に、各学校からの距離に応じ優先順位分けされた学区制度を導入している（図3-1参照）。この制度は各学校の学区が明確に線引きされているものの、毎年の生徒数の増減を勘案して児童の通学校を割り振っているのが現状で、学区を越えて児童が通学するケースも多々見られる。今後、本計画校及び第5小学校を開設した場合、両新設校を含めたマレ島の小学校が全体的に島の南部に集中してしまい、従来の学区に代わる新たな学区の制定が必要となる。

これに対して教育省は、マレ島6校の全初等学校において1クラス当たりの生徒数を同じにするという基本方針の下、新たな学区の制定を予定しており、既存小学校の校長、PTA等を含んだ委員会を結成し、入学者や全生徒の名簿の作成、居住地地図の策定等、1999年の第5、6初等学校の開校に向けて準備を進めている。本計画ではこうした動向を踏まえ、またマレ島は狭小なため島内であれば学校の位置に関わらず児童の通学が可能なることから、マレ島全土を1学区と考え、島内の就学適齢児童数と全教室数の割合から施設規模の設定を行う。

図3-1 マレ島既存初等学校4校の学区



1 : Machchangoli地区    2 : Galolhu地区    3 : Maafannu地区    4 : Henveiru地区  
 ..... 地区境界線



### 3-2-2 学校規模の妥当性

要請では普通教室の室数は35教室とされている。教育省による各学年の就学人口の推計（表3-2参照）によれば、本計画の完成予定である1999年のマレ島における1～7学年までの就学適齢児童数は10,316人と予想されている。現在既存の4つの公立小学校には計120の教室があるが、今後6学年と7学年が吸収された場合、新たに理科室の新設が必要となるため各校1校の計4教室を差し引いた116教室が1999年の全教室数と考えられる。これにモ国の計画に沿って第5と第6小学校が各35教室新設されると70教室が新しく加わり、全教室数は186教室となる。また教育省は今後とも2部制を続ける方針なので、その場合のクラス数は372クラスと計算される。この数を単純に推計人口で割ってみた場合、1クラスの平均児童数は27.7人となる。教育省では1クラス平均30名を推奨しているので2.3人分下回ることになるが、5年後の2004年に児童数は11,312人に増加すると予想されており、その場合1クラス当たり30.4人の生徒数となり30名とほぼ一致する。将来的に「モ」国の人口は増加を続けると予想されるが、マレ島の許容人員が飽和状態に近づいていることから、2004年以降の人口増加が現状と同じ割合で増え続けるとは予想し難い。従って現状では要請の35教室は、妥当と考えられる。

表3-2 マレ島における公立小学校の生徒数の推計（人）

|       | 1997  | 1998  | 1999   | 2000   | 2001   | 2002   | 2003   | 2004   | 2005   |
|-------|-------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 1年生   | 1,427 | 1,458 | 1,490  | 1,523  | 1,556  | 1,591  | 1,626  | 1,661  | 1,698  |
| 2年生   | 1,396 | 1,427 | 1,458  | 1,490  | 1,523  | 1,556  | 1,591  | 1,626  | 1,661  |
| 3年生   | 1,342 | 1,396 | 1,427  | 1,458  | 1,490  | 1,523  | 1,556  | 1,591  | 1,626  |
| 4年生   | 1,378 | 1,342 | 1,396  | 1,427  | 1,458  | 1,490  | 1,523  | 1,556  | 1,591  |
| 5年生   | 1,470 | 1,466 | 1,430  | 1,482  | 1,516  | 1,549  | 1,583  | 1,618  | 1,654  |
| 6年生   |       | 1,561 | 1,534  | 1,498  | 1,543  | 1,579  | 1,614  | 1,650  | 1,686  |
| 7年生   |       |       | 1,581  | 1,539  | 1,502  | 1,539  | 1,575  | 1,610  | 1,646  |
| 生徒総数  | 7,013 | 8,650 | 10,316 | 10,416 | 10,588 | 10,827 | 11,068 | 11,312 | 11,561 |
| 必要学級数 | 234   | 288   | 344    | 347    | 353    | 361    | 369    | 377    | 385    |
| 必要教室数 | 117   | 144   | 172    | 174    | 176    | 180    | 184    | 189    | 193    |
| 既存教室数 | 120   | 116   | 116    | 116    | 116    | 116    | 116    | 116    | 116    |
| 不足教室数 |       |       | 56     | 58     | 60     | 64     | 68     | 73     | 77     |

- (注) 1 4年生までは自動進級とする  
 2 1年生の生徒は毎年2.2%増える  
 3 留年率は5年生で6%、6・7年生で10%  
 4 既存の教室数は、120であるが6年と7年が吸収されると理科室が必要
- 出典 教育省

### 3-2-3 所用室及び規模の妥当性

#### (1) 要請にかかる計画諸室

要請された諸室はその機能により以下の通り大別出来る。

- A)教育エリア : 授業等教育活動を実施するためのスペース
- B)事務・教職員用エリア : 学校運営に必要な教・職員のためのスペース
- C)付属サービスエリア : 便所・廊下等施設のサービスのスペース

要請されている諸室の種類、規模はこの分類に従うと下表の通りとなる。

表3-3 要請諸室

| 室名                                | 室数 | 室面積 (㎡) | 備考                  |
|-----------------------------------|----|---------|---------------------|
| A) 教育エリア :                        |    |         |                     |
| 普通教室                              | 35 | 48.0    |                     |
| 美術工作室                             | 1  | 128.0   |                     |
| 音楽室                               | 1  | 64.0    |                     |
| 理科室                               | 1  | 50.0    |                     |
| コンピューター室                          | 1  | 41.0    |                     |
| 視聴覚室                              | 1  | 75.0    |                     |
| 図書室                               | 1  | 128.0   |                     |
| 体育館                               | 1  | 532.0   | 観覧席、体育館倉庫、専用便所を含む   |
| 講堂                                | 1  | 290.0   | ステージを含む             |
| B) 事務・教職員用エリア                     |    |         |                     |
| ロビー                               | 1  | 46.0    |                     |
| 一般事務室                             | 1  | 123.0   | 事務長室、印刷室含む          |
| 会議室                               | 1  | 15.0    |                     |
| 校長室                               | 1  | 12.0    |                     |
| 副校長室                              | 1  | 12.0    |                     |
| 教職員室                              | 1  | 128.0   | 教材庫・教職員休憩室を含む       |
| 主任室                               | 1  | 48.0    |                     |
| C) 付属サービスエリア : 便所・廊下等施設のサービスのスペース |    |         |                     |
| 相談室                               | 1  | 11.0    |                     |
| 保健室                               | 1  | 9.0     |                     |
| 祈禱室                               | 1  | 40.0    | 室外にフック・ジョシ (浄め場) 設置 |
| 体育倉庫                              | 1  | 34.0    |                     |
| 事務室用倉庫                            | 1  | 11.0    |                     |
| 教職員用便所                            | 1  | 32.0    | 1階に1ヶ所              |
| 生徒用便所                             | 7  | 201.0   | 1階1ヶ所、2階以上各階2ヶ所     |
| 機械室                               | 1  | 7.0     |                     |
| クイックコート                           | 1  | --      | 屋外授業のためのピロティ        |
| 廊下・階段等                            |    | 1,391.0 |                     |
| 合計                                |    | 5,108.0 |                     |

## (2) 要請諸室の必要性

要請諸室は以下の観点から評価する。

- ①現在行われている授業に必要である。
- ②現在の学校運営システムに照らす。
- ③室数は現行の科目別習慣授業時間数に照らし利用率が十分に期待できる。

### A) 教育エリア

下表は教育省の実施している現行のカリキュラムである。教育省は 2000 年以降にこのカリキュラムを改訂する意向を持っているがまだ具体化していないため、本計画では現行のカリキュラムを基に計画を行う。

表 3-4 現行のカリキュラム (時間/週)

|      | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|
| デハビ語 | 5  | 5  | 5  | 5  | 5  | 6  | 6  |
| イラム  | 3  | 3  | 3  | 3  | 3  | 5  | 5  |
| 英語   | 8  | 8  | 8  | 8  | 8  | 8  | 8  |
| 算数   | 6  | 6  | 6  | 6  | 6  | 7  | 7  |
| 環境   | 6  | 6  | 6  | 6  | 6  | -  | -  |
| 芸術   | 3  | 3  | 3  | 3  | 3  | 3  | 3  |
| 体育   | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  | 1  | 1  |
| テラ   | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  | -  | -  |
| 理科   | -  | -  | -  | -  | -  | 5  | 5  |
| 社会   | -  | -  | -  | -  | -  | 5  | 5  |
| 合計   | 35 | 35 | 35 | 35 | 35 | 40 | 40 |

資料提供：教育省 学校管理課

#### 1) 普通教室

普通教室の必要性は論を俟たないが、教室数については 3-2-2 の学校規模の妥当性の記述で述べたとおり、35 教室とする。

#### 2) 美術工作室

美術の授業は小中学校とも芸術（実践芸術）の科目に位置づけられる。これは美術・音楽・家庭科・工作等を含んだ複合科目であるが、その内小・中学校とも週 1 時間が美術の授業として当てられている。小学校低学年では色鉛筆を主に用いるため普通教室において授業が実施されている。しかし小学校中学年程度から水彩絵の具を使用するため洗い場が必要となり、簡易な工作も授業に含まれることから、専用の特別教室が必要となる。美術授業に使用する美術室の使用頻度は、第 3,4,5,6,7 学年で 1 クラス週 1 時限となる。

また第 6 学年においては、同じ芸術の授業に美術の他、技術（主に木工作）・家庭科・農業（漁業を含む）の授業が含まれる。これらの 3 科目は週に 1 時限の授業を与えられ、3 週間に 1 度の割合で各科目が実施される。

これら 3 科目の内、農業は普通教室若しくは屋外において授業が実施されるが、

技術及び家庭科については各々木工、調理、裁縫等の授業が中心となるため、特別教室が必要となる。従って本計画ではこれら技術及び家庭科の2科目を美術室で授業するものとする。この場合6学年1クラス当たりの技術及び家庭科による美術室の使用頻度は、各科目とも3週間に1時限（1週間当たり1/3時限）の頻度で授業が実施されるため、技術・家庭科の2科目で2/3（3分の2）時限となる。

### 3) 音楽室

音楽の授業は全学年を通じて芸術（実践芸術）の1科目として、週1回行われる。低学年では歌を、中高学年からは歌に伴い楽器を用いた授業を主体とすることから、一般授業への影響を考慮し、普通教室から離れた場所に専用の特別教室を必要とする。従って音楽室の使用頻度は、全学年で1クラス週1時限となる。

### 4) 理科室

小学校における理科の授業は社会科と共に環境という科目に位置づけられ、合わせて週に6時限となっている。授業は教材及び簡易な機材を使用して普通教室で行われている。中学校では理科のみとして週に5時限が用意され、既存校では化学・物理・生物の各々専用特別教室を設け授業が実施されている。カリキュラム上中学校レベルでは理科実験のための特別教室が必要となるが、中学校低学年である第6,7学年レベルでは化学・物理・生物と専用室を必要とする高度な授業は実施されないため、共通の理科室の設置が妥当と考えられる。既存中学校における実験室での授業は全授業の4割程度が現状で、その他は普通教室において授業が実施されていることから、理科室の使用頻度は第6,7学年1クラスで週2時限となる。

### 5) コンピューター実習室

現行のカリキュラムでは、コンピューターを使用する授業は第8学年以上であり、また教育省の教員養成所においてもコンピューター実習教師の養成は行われていない。モ国政府は将来コンピューターを使用した授業の実施、また専用科目を設けた場合に備えコンピューター実習室の設置を要請しているが、現状ではその具体的な実施計画が無く、2000年以降のカリキュラムの改訂にも明かれていないことから、本計画にコンピューター室を設けることは妥当でないと考えられる。

### 6) 視聴覚室

カリキュラムではビデオ・テープ教材を使用した授業を特に規定していないが、マレ島の既存各小中学校では英語の授業にテープを使用したり、科目を問わずビデオ教材を用いた授業が実施されている。語学におけるテープ教材の使用の必要性は言うに及ばず、ビデオ教材については施設・機材不足等による高度な実習授業の困難、モ国の実状から社会見学の困難、モ国一般でのメディア不足等の理由により、ビデオ教材の有用性も高いと判断される。また教材については各学校独自に購入する場合もあるが、教育省の教育開発センターで教材の貸し出しを行っ

ており、これが広く利用されている。テープ・ビデオによる教育の必要性、及び教材調達についても問題ないと判断されることから、これら教材を用いた授業を実施するための機材を完備した視聴覚室の設置は妥当と考えられる。

英語では「聞き取り」の授業において各学年とも週 1 時限程度テープ教材が使用されることから、この授業による視聴覚室の使用頻度は、全学年で 1 クラス週 1 時限となる。

## 7) 図書室

「モ」国では書店の数が少なく蔵書も限られており、輸入品のため書籍は一般に高価な事から、児童が書籍を購入することは困難で、読書の機会を必然と図書館に頼らざるを得ない。しかしマレ島には公共の図書館は 1 つしかなく、また蔵書の内容や授業時間との兼ね合いからこの施設の利用も困難である。そのため児童にとって読書の機会を得る数少ない場所として、学校図書室の必要性は高く利用率も高い。また英語の「読み取り」の授業の場として、各クラスとも週 1 時限程度が図書室で定期的に使用されている。既存各小中学校における蔵書数はまちまちだが、何れの学校も年間学校運営費の 1 % 弱程度 (15,000 ~ 20,000 円) を図書費として書籍の購入に充て、また PTA も書籍購入の援助を行っている。以上同国における学校図書室の必要性・利用率が高いこと、一般授業においても定期的に利用されること、また書籍の調達も期待出来ることから、本計画に図書室を設けることは妥当と考えられる。

図書室の使用頻度は英語の授業を考慮した場合、全学年で 1 クラス週 1 時限となる。

## 8) 体育館／講堂

体育館／講堂については屋内体育授業の実施の場、学校集会や発表会等一般学校活動の場としてその必要性は充分認められ、かつ既存の全公立小中学校においても体育館・講堂としてのホールを有することから、本計画にこうしたホールを設けることは妥当と判断される。

「モ」国政府の要請では「児童のオープンスペースの不足」、「2 部制下児童の課外授業の実施の場」、「敷地の高度利用」等の観点から、体育館、講堂を 2 階建てとして別個に設けて欲しいとの要望があった。しかし、これについては以下の理由により体育館・講堂兼用のホールを 1ヶ所設けることとする。

- ・「モ」国の要請理由から、運動可能な場所がより多く必要とされていると解釈されるが、体育館と講堂を別個に設ける必要性についてはその根拠が不明確である。
- ・スポーツの課外授業は、屋内競技のみならず屋外競技や屋外でも実施可能な競技も含まれることから、体育館のみに固執せず学校全体としての運動可能な場所の確保に努めることで、対応が可能である。
- ・課外授業が夜間、休日に行われてはいるが就業時間内、特に午前中においてはこうした課外授業が見受けられない。

- ・学校のスポーツクラブ活動は、主に学校対抗戦の開催前に選抜された生徒により集中的に実施されるのが実状である。
  - ・青年スポーツ省が一般の児童も対象に管轄の施設をクラブ活動的に開放しているが、この体育館及びスタジアムが本計画地に隣接している。
- 現行のカリキュラムより体育授業時間の半分を体育館で、残りを屋外と考えた場合、体育館の使用頻度は、第 1,2,3,4,5 学年で 1 クラス週 1 時限、第 6,7 学年では週 1/2 時限となる。

□ 特別教室の使用頻度

以上の結果、各特別教室を同時に 1 クラスで使用し、1 週間の授業時間を中等学校の現行の 40 時限とし、午前午後とも全学年が各 5 クラスずつ授業（現行は午前午後をそれぞれ高学年・低学年と分けているが）を行うとした場合、各室の稼働率は下表の通りと予定される。

表 3-5 各特別教室の稼働率（一般授業による使用のみ）

|        | 使用科目  | 使用学年          | クラス数 | 使用頻度<br>(時限/週) | 使用時限数 | 稼働率   |
|--------|-------|---------------|------|----------------|-------|-------|
| 美術工作室  | 美術    | 3,4,5,6,7     | 25   | 1              | 25.0  | 70.7% |
|        | 技術家庭科 | 6             | 5    | 2/3            | 3.3   |       |
|        | 合計    |               |      |                | 28.3  |       |
| 音楽室    | 音楽    | 1,2,3,4,5,6,7 | 35   | 1              | 35.0  | 87.5% |
| 理科室    | 理科    | 6,7           | 10   | 2              | 20.0  | 50.0% |
| 視聴覚室   | 英語    | 1,2,3,4,5,6,7 | 35   | 1              | 35.0  | 87.5% |
| 図書室    | 英語    | 1,2,3,4,5     | 25   | 1              | 25.0  | 41.7% |
| 体育館/講堂 | 体育    | 1,2,3,4,5     | 25   | 1              | 25.0  | 75.0% |
|        |       | 6,7           | 10   | 1/2            | 5.0   |       |
|        | 合計    |               |      |                | 30.0  |       |

B) 事務・教職員用エリア

9) ロビー

ロビーは学校正面入り口から一般事務室に通じる場所に、学校全体の受付的スペースとして、また校内掲示場として活用される。廊下の一部を拡げることにより設けられるため、あえて室としては取り扱わない。

10) 一般事務室

一般事務部門は学校の総務、経理、庶務等の業務を管轄し、午前午後を合わせ約 25 名程の職員配置が予定されており、専用の事務室を設けることは妥当と判断される。一般事務室には事務長室、印刷室、事務職員のための給湯室を併設する。

#### 11) 会議室

本計画校は教員、一般職員等を合わせ約 150 名程度の職員が予定されており、こうした職員向けに専用の会議室を設けることは妥当と考えられる。既存校の例では校長・副校長・スーパーバイザーによる会議、またこれに事務長を含めた職員による会議が定期的に行われていることから、対象とする人員は約 12 名程度とする。

#### 12) 校長室／副校長室

「モ」国では一般的に 2 部制による授業が行われていることから、学校長は午前午後両部を受け持つが、副校長が各 1 名ずつ午前と午後を受け持っている。校長は午前から午後を通して就業時間中学校に滞在するため専用室を設ける。他校に習い校長室には専用の便所を設置する。副校長は午前・午後とシフトするため 2 名兼用で 1 室とする。また通常校長、副校長には専任の秘書がつくことから両室共通の秘書室を設ける。

#### 13) 教職員室

今回予定されている教職員数は、午前午後とも約 50 名程度となっている。教職員は生徒同様、午前・午後でシフトする。マレの既存校では通常、教職員が普通教室に居る時間が長いことから、教職員室は各人専用の机を持たず、教職員室内に置かれたテーブルを兼用する。各個人の教材等については、専用のロッカーが用意されこれを使用している。

本計画においてもこれに慣らうものとする。就業時間の前後にこれら教職員が一同に会することから、教職員室の収容人員は約 50 名程度を考慮する。また教材庫、教職員のための給湯室を併設する。

#### 14) 主任室

「モ」国の学校では一般教員の監督者として、一般教員 8 名程度に対して 1 名の割合で主任に相当するスーパーバイザーが任命される。スーパーバイザーも教職員等と同様午前午後でシフトする。通常スーパーバイザーは専用の机を用意され、また一般教職員と別室とされることから、本計画もこれに慣らう。本計画校では午前午後合わせ 8 名のスーパーバイザーの配置が予定されていることから、この人数を対象人員とする。

### C) 付属サービスエリア

#### 15) 相談室

「モ」国の教育現場では青少年の非行化増大から、生徒の生活指導が重要視されており、そのためマレの既存各小中学校ではカウンセラーが常時学校に滞在し、生徒の個別相談・指導を行っている。本計画の職員配置でも午前・午後各 1 名の配置が予定されていることから、他校に慣らいカウンセラー室を設ける。

#### 16) 保健室

教育省は生徒の健康管理の目的から、各学校に対し保健室を設置すると共に保健員を置くよう各学校に指導しており、既存各小中学校ではこれに慣らっている。保健員の主な目的は生徒の簡易な治療の他、定期的な身体測定の実施、健康指導を行うこととなっている。調査結果では各学校の保健室の使用頻度は低いが、こうした現状を配慮し本計画においても保健室を設置することが妥当と考えられる。

#### 17) 祈祷室

「モ」国は国民の殆どがイスラム教徒であり、毎日の祈祷は既に国民の習慣となっており、既存 6 校の公立小中学校でも内 5 校が祈祷室を有している。既存校ではイスラムの授業において祈祷室を使用する場合もあるが、生徒教職員の自主的な祈祷目的に使用されるのが常であり、概してその使用率は特に高いとはいえない。しかし宗教配慮の観点から本計画に祈祷室を設けることは「モ」国政府の方針でもあり妥当と考えられる。

#### 18) 体育倉庫／事務室倉庫

倉庫として「モ」国より体育倉庫、事務室用倉庫の 2 室が要請されているが、通常学校施設にはその他に各種機材、教材、備品、書類等を収納するための倉庫が必要である。本計画では諸室の内容、配置を考慮した上で適宜倉庫を設置する。

#### 19) 教職員便所／生徒用便所

便所については、位置及び同時使用状況を考慮し、適宜設置するものとする。また 1 階には身障者に対応した便所を 1ヶ所設ける。

#### 20) 機械室

本施設に必要な機械室は、給水のためのポンプ室、及び電力引き込みに伴う変電室となる。ポンプ室については余り大きなスペースを必要としないことから、階段下スペースを利用する。

#### 21) 階段廊下等

平面計画の上、適宜設ける。

#### 22) クワイエットエリア

「モ」国の各学校では暑い教室内での授業に対し、屋外の方がより快適で児童の授業環境に適しているとの理由から、木陰等を利用し頻繁に授業が実施されている。本計画においても要請に従いクワイエットエリアとしてピロティを設け、屋外授業の実施と共に、雨天時等は体育館と共に簡易な体育の実施を可能にする。



### (3) 諸室の規模

普通教室については 30 名を対象に 48 m<sup>2</sup>が要請されており、これについては家具レイアウトからも概ね妥当と判断される。その他の諸室については要請面積を基本とするが、各諸室の使用人数、使用方法を検討し、また家具のレイアウトを行うことにより諸室規模の妥当性を検証する。

### (4) 諸室のグレード

諸室のグレード設定は、教育省が独自に建設している学校、また IDB による第 5 小学校のグレードと基本的に同等とする。

## 3-2-4 教育機材の妥当性

### (1) 品目の妥当性

教育機材は 10 教科 468 品目についての要請がなされている。このなかには、カリキュラムで取り扱われていないものや、教員養成のカリキュラムにないもの、現場の教師が実際の授業で使っていないような機材、また生徒の特殊なグループだけで使用されることが予想されるもの、さらには両用紙や鉛筆や消しゴムまた目薬など消耗品であるものなども含まれている。そこで要請機材の検討にあたり、各教科の教材品目の妥当性は以下 7 つの基準にしたがい検討し、機材品目を選定する。(表 3-6 参照)

- 1 カリキュラムで取り扱われているかどうか
- 2 教科書の内容に沿っているかどうか
- 3 教師の養成所の訓練内容にあり教師がいるかどうか
- 4 現場の教師が現在実際に使って教えているかどうか
- 5 消耗品でないこと
- 6 学校外に容易に運び出せ個人所有となる可能性が少ないこと
- 7 維持管理に問題がないこと及びその他の要因（リストに入っている他の機材で代用できる、また使用頻度が著しく少ないもの等）

### (2) 仕様の妥当性

機材は小中学校の教材として適当と考えられるグレードの製品とし、中等・高等教育や研究用のグレードの製品とは一線を画した製品であること。ただし生徒が使用することから耐久性のある機材の選定をおこなう。また維持管理、消耗品やスペアの調達等の便宜を考え、現地で入手可能な製品を選択するものとする。「モ」国の学校では一般的に STO (State Trade Organization) を通じて教育機材を輸入しており、本計画においても STO より調達可能な製品を選択することで、消耗品やスペアの調達が可能となる計画とする。

### (3) 数量の妥当性

要請数量の検討は、一クラスが30人の生徒で構成されるものとし、既存の小中学校で実際に行われている教授方法（班構成等）から想定される必要数量に適合するかどうかという観点から行った。その結果、要請数量にはばらつきがみられ、各品目の使用にあたりグループの構成や教授の方法が明確ではないと判断された。そこで以下の基準から計画数量を算定することとする。

1. 1クラスの生徒個人の学習用として各1個の計30個
2. 各班（6人）のグループ学習用として各班各1個の計5個
3. 教師や学校が生徒全体に対して使用するものや教師の生徒への説明用として1個
4. 理科のガラス製品等破損が予想される品目は予備として倍の数量を用意する。
5. 教師が教授の際に概念を説明するために仕様する教材については、担当教師が工夫をして作ったり、生徒に作らせたりする方が教育効果が大であるものについては学校全体で1個とする。

機材の品目の選定は、妥当性の基準の1～7に従い次頁表のようにした。×印のついた品目は削除し、必要性の欄の○印は選定対象とする。

表3-6 教育機材の選定(1)

| No. | 要請品目                           | 理科1 | 品目の選択基準 |   |   |   |   |   |   | 必要性 |
|-----|--------------------------------|-----|---------|---|---|---|---|---|---|-----|
|     |                                |     | 1       | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |     |
| S1  | 4mm プラック 250mm 赤               |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S2  | 4mm プラック 250mm 黄色              |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S3  | 4mm プラック 250mm 黒               |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S4  | プラック プラック 長方形                  |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S5  | プラック プラック 三角形<br>60°, 60°, 60° |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S6  | ポリウム 1巻                        |     |         |   |   |   |   | × |   | ○   |
| S7  | 電流計 (0-2A)                     |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S8  | 気圧計                            | ×   |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S9  | 天秤                             |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S10 | 電気天秤                           |     |         |   |   |   |   |   | × | ○   |
| S11 | 棒磁石                            |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S12 | ビーカー 100ml                     |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S13 | ビーカー 250ml                     |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S14 | ビーカー 600ml                     |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S15 | ペルシヤー                          |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S16 | ハイメタル                          |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S17 | ビュレットはさみ (支持台)                 |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S18 | 豆電球                            |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S19 | アタカシター (キャップ用)                 |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S20 | クランプ                           |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S21 | 塩化ナトリウム紙                       |     |         |   |   |   |   | × |   | ○   |
| S22 | 凹皿                             |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S23 | 三角フラスコ 250ml、耐熱ガラス             |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S24 | 凸皿                             |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S25 | 鋸口クランプ                         |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S26 | 最高・最低温度計                       |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S27 | 燃焼フラスコ 針なし 耐熱約 600℃            |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S28 | 棒 1.7cm 長さ 110mm               |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S29 | 蒸発フラスコ 直径 90mm                 |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S30 | 濾紙 直径 90mm                     |     |         |   |   |   |   | × |   | ○   |
| S31 | 枝付きフラスコ                        |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S32 | ビュレット                          |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S33 | ポート 89mm 棒用                    | ×   |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S34 | 銹物テストキット                       |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S35 | 攪拌棒 ガラス                        |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S36 | ガラス管 5mm                       |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S37 | パネばかり                          |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S38 | ワタ紙 青                          |     |         |   |   |   |   | × |   | ○   |
| S39 | ワタ紙 赤                          |     |         |   |   |   |   | × |   | ○   |
| S40 | 虫眼鏡 直径 63mm L145               |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S41 | 組み分銅 100g ケース入り                |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S42 | 組み分銅 10g ケース入り                 |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S43 | メソジター 100ml プラスチック             |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |

選定基準

- 1 カリキュラムで取り扱われているかどうか
- 2 教科書の内容に沿っているかどうか
- 3 教師の養成所の訓練内容にあり教師がいるかどうか
- 4 現場の教師が現在実際に使って教えているかどうか
- 5 消耗品でないこと
- 6 学校外に容易に運び出し個人所有となる可能性が少ないこと
- 7 維持管理に問題がないこと及びその他の要因  
(リストに入っている他の機材が代用可能。使用頻度が著しく少ないもの等)

表3-6 教育機材の選定(2)

| No. | 要請品目                               | 理科2 | 品目の選択基準 |   |   |   |   |   |   | 必要性 |
|-----|------------------------------------|-----|---------|---|---|---|---|---|---|-----|
|     |                                    |     | 1       | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |     |
| S44 | 双シリンダー 10ml プラスチック                 |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S45 | 双シリンダー 250ml プラスチック                |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S46 | 巻き尺 2 m 幅 16mm                     |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S47 | 定規 (小)                             |     |         |   |   |   |   |   | × | ○   |
| S48 | 生徒用 顕微鏡 × 40, × 100, × 400         |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S49 | 分子行方 二酸化炭素                         |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S50 | 分子行方 酸素                            |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S51 | 分子行方 水                             |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S52 | 水乳鉢と乳棒 直径 11cm                     |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S53 | バネ切 (ニュートン 0-10N)                  |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S54 | バネ切 0-50N                          |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S55 | 平面鏡 (100mm × 100mm)                |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S56 | 方位磁石                               |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S57 | 電源 / (電池)                          |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S58 | 雨量計                                | ×   |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S59 | 丸底フラスコ 耐熱ガラス 250ml                 |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S60 | ゴム管 直径 5mm                         |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S61 | 安全メガネ                              |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S62 | 皿                                  |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S63 | 立方ガラス 76 × 26 × 1.0-1.2mm 1箱 (100) |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S64 | 加熱ガラス 18mm × 18mm                  |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S65 | 葉剪 200mm                           |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S66 | 支持台 h=750mm                        |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S67 | ゴム栓 直径 21mm                        |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S68 | ゴム栓 1穴直径 21mm                      |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S69 | ゴム栓 直径 31mm                        |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S70 | ゴム栓 1穴 直径 31mm                     |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S71 | 注射器 10ml、50ml                      |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S72 | 木の棒のゴム                             |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S73 | 試験管架                               |     |         |   |   |   |   |   | × | ○   |
| S74 | 試験管架(12穴)                          |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S75 | 試験管 耐熱ガラス 150 × 16mm               |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S76 | 試験管 耐熱ガラス 150 × 24mm               |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S77 | 温度計赤、70-90、(-10~110 °C)            |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S78 | タテ白 200mm × 200mm                  |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S79 | 鉄製三脚 200mm 直径 100mm                |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S80 | ガラス棒 200mm                         |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S81 | pH試験紙 1-14 1箱                      |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S82 | 電圧計 (0-15v)                        |     |         |   |   | × |   |   |   | ○   |
| S83 | 寒暖                                 |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S84 | 計時計皿 60mm                          |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| S85 | セラミック付き金網                          |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |

選定基準

- 1 カリキュラムで取り扱われているかどうか
- 2 教科書の内容に沿っているかどうか
- 3 教師の養成所の訓練内容にあり教師がいるかどうか
- 4 現場の教師が現在実際に使って教えているかどうか
- 5 消耗品でないこと
- 6 学校外に容易に運び出せ個人所有となる可能性が少ないこと
- 7 維持管理に問題がないこと及びその他の要因  
(リストに入っている他の機材が代用可能。使用頻度が著しく少ないもの等)

表3-6 教育機材の選定(3)

| No. | 要請品目         | 社会・環境 | 品目の選択基準 |   |   |   |   |   |   | 必要性 |
|-----|--------------|-------|---------|---|---|---|---|---|---|-----|
|     |              |       | 1       | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |     |
| SE1 | 地球儀 (行政) 16" |       |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| SE2 | 地球儀 柱型 12"   |       |         |   |   |   |   |   | × | ○   |
| SE3 | 地球儀 地勢       |       |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| SE6 | 世界全図         |       |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| SE7 | 世界州別立体地図 6枚組 |       | ×       |   |   |   |   |   |   | ○   |
| SE8 | 透視天体儀        |       |         |   |   |   |   |   |   | ○   |

表3-6 教育機材の選定(4)

| No.  | 要請品目                       | 算数 | 品目の選択基準 |   |   |   |   |   |   | 必要性 |
|------|----------------------------|----|---------|---|---|---|---|---|---|-----|
|      |                            |    | 1       | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |     |
| MA1  | 面積基本平方板                    |    |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| MA2  | 体積基本単位学習器 1cm <sup>3</sup> |    |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| MA3  | 時刻時間説明教具                   |    |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| MA4  | 教授用時計スタンプ                  |    |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| MA5  | 7°プラスチック体積単位学習             |    |         |   |   |   |   | × |   | ○   |
| MA6  | 幾何形立体像                     |    |         |   |   |   |   |   | × | ○   |
| MA7  | 幾何形立体像                     |    |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| MA8  | 多面体展開説明器                   |    | ×       |   |   |   |   |   |   | ○   |
| MA9  | 大型分度器                      |    |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| MA10 | 大型定規                       |    |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| MA11 | 大型コンパス (黒板用)               |    |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| MA12 | 1cm定規                      |    |         |   |   |   |   | × |   | ○   |
| MA13 | リットル瓶                      |    |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| MA14 | 大型三角定規                     |    |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| MA15 | 自動上皿計り                     |    |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| MA16 | 多角形説明板                     |    |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| MA17 | 立方体切断面説明器                  |    | ×       |   |   |   |   |   |   | ○   |
| MA18 | 面積基本単位説明器                  |    |         |   |   |   |   | × |   | ○   |
| MA19 | 立体模型                       |    |         |   |   |   |   | × |   | ○   |
| MA20 | 面積基本原理説明器                  |    |         |   |   |   |   | × |   | ○   |
| MA21 | 対象図形説明器                    |    | ×       |   |   |   |   |   |   | ○   |
| MA22 | ストップウォッチ                   |    |         |   |   |   |   |   | × | ○   |
| MA23 | 分数説明器                      |    |         |   |   |   |   |   |   | ○   |

選定基準

- 1 カリキュラムで取り扱われているかどうか
- 2 教科書の内容に沿っているかどうか
- 3 教師の養成所の訓練内容にあり教師がいるかどうか
- 4 現場の教師が現在実際に使って教えているかどうか
- 5 消耗品でないこと
- 6 学校外に容易に運び出せ個人所有となる可能性が少ないこと
- 7 維持管理に問題がないこと及びその他の要因  
(リストに入っている他の機材が代用可能。使用頻度が著しく少ないもの等)

表3-6 教育機材の選定(5)

| No   | 要請品目                 | 体育1 | 品目の選択基準 |   |   |   |   |   |   | 必要性 |
|------|----------------------|-----|---------|---|---|---|---|---|---|-----|
|      |                      |     | 1       | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |     |
| EA1  | 補助的床マット 3"×6" 厚 3"   |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| EA2  | 補助的床マット 3"×12" 厚 3"  |     |         |   |   |   |   |   | × | ○   |
| EA3  | 着地用マット 12"×8"× 厚 18" |     |         | × |   |   |   |   |   | ○   |
| EA4  | 宙返り用走路               |     |         | × |   |   |   |   |   | ○   |
| EA5  | スプリングボード             |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| EA6  | 跳び箱 (小学校用)           |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| EA7  | 平均台 (小学校用)           |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| EA8  | 平行棒 着地マット付き          |     |         | × |   |   |   |   |   | ○   |
| EA9  | 宙返り訓練用ベルト            |     |         |   |   |   |   |   | × | ○   |
| EA10 | 平均台脚保護用マット           |     |         |   | × |   |   |   |   | ○   |
| EA11 | 平行棒脚保護用マット           |     |         | × |   |   |   |   |   | ○   |
| EA12 | トランポリン (小学生用)        |     |         | × |   |   |   |   |   | ○   |
| EA13 | サッカー (ミニゴールネット付き)    |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| EA14 | ゴールネット               |     |         |   |   | × |   |   |   | ○   |
| EA15 | サッカーボール 4号           |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| EA16 | 作戦板                  |     |         |   | × | × |   |   |   | ○   |
| EA17 | コーンボール (6色)          |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| EA18 | 空気入れ                 |     |         |   |   |   |   |   | × | ○   |
| EA19 | バレーボール支柱             |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| EA20 | ネット                  |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| EA21 | フック                  |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| EA22 | 審判台 (組立式)            |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| EA23 | 得点板                  |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| EA24 | 支柱安全カバー              |     |         |   | × |   |   |   |   | ○   |
| EA25 | バレーボール               |     |         |   |   | × |   |   |   | ○   |
| EA26 | 床マットクッション            |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| EA27 | ネットボール支柱             |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| EA28 | ネット                  |     |         |   |   | × |   |   |   | ○   |
| EA29 | ネットボール (標準)          |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| EA30 | ネットボール得点板            |     |         |   | × |   |   |   |   | ○   |
| EA31 | 支柱カバー                |     |         |   | × | × |   |   |   | ○   |
| EA32 | 浮き袋 (肩用)             |     |         |   |   | × |   |   |   | ○   |
| EA33 | ビート板 (大)             |     |         |   |   | × |   |   |   | ○   |
| EA34 | ビート板 (小)             |     |         |   |   | × |   |   |   | ○   |
| EA35 | 手用マット                |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| EA36 | 安全ロープ支持器と巻き器         |     |         |   |   |   |   |   | × | ○   |
| EA37 | スタート用ビスマ             |     |         |   |   | × |   |   | × | ○   |
| EA38 | 幼少                   |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| EA39 | コーンボール (フッカー付き)      |     |         |   |   |   |   |   | × | ○   |
| EA40 | バスケットボール             |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| EA41 | ネットリフト               |     |         |   |   | × |   |   |   | ○   |
| EA42 | バスケットボール (小学校用)      |     |         |   |   | × |   |   |   | ○   |
| EA43 | バスケットボール (標準サイズ)     |     |         |   |   |   |   |   |   | ○   |
| EA44 | バスケットボール得点板          |     |         |   | × |   |   |   |   | ○   |
| EA45 | スターティングブロック          |     |         |   | × |   |   |   |   | ○   |

選定基準

- 1 カリキュラムで取り扱われているかどうか
- 2 教科書の内容に沿っているかどうか
- 3 教師の養成所の訓練内容にあり教師がいるかどうか
- 4 現場の教師が現在実際に使って教えているかどうか
- 5 消耗品でないこと
- 6 学校外に容易に運び出せ個人所有となる可能性が少ないこと
- 7 維持管理に問題がないこと及びその他の要因  
(リストに入っている他の機材が代用可能。使用頻度が著しく少ないもの等)

表3-6 教育機材の選定(6)

| No   | 要請品目          | 体育2 | 品目の選択基準 |   |   |   |   |   |   | 必要性 |   |
|------|---------------|-----|---------|---|---|---|---|---|---|-----|---|
|      |               |     | 1       | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |     |   |
| EA46 | ネット           |     |         |   |   |   |   |   |   |     | ○ |
| EA47 | スタート用信号器      |     |         |   |   |   |   |   |   | ×   |   |
| EA48 | 小丸栗(スタート信号器)  |     |         |   |   |   |   | × |   |     |   |
| EA49 | ネット(高さ調節可能)   |     |         |   | × |   |   |   |   |     |   |
| EA50 | 砲丸            |     |         |   | × |   |   |   |   |     |   |
| EA51 | 円盤            |     |         |   | × |   |   |   |   |     |   |
| EA52 | やり投げ用刃        |     |         |   | × |   |   |   |   |     |   |
| EA53 | 走り高とび用スタート    |     |         |   | × |   |   |   |   |     |   |
| EA54 | 走り高とび用バー      |     |         |   | × |   |   |   |   |     |   |
| EA55 | 着地マット         |     |         |   | × |   |   |   |   |     |   |
| EA61 | ネット用支柱(ネット付き) |     |         |   |   |   |   |   |   |     | ○ |
| EA62 | ネット           |     |         |   |   |   |   |   |   |     | ○ |
| EA63 | 床マット          |     |         |   | × |   |   |   |   |     |   |
| EA64 | マット           |     |         |   |   |   |   | × |   |     |   |
| EA65 | 沙桶(プラスチック)    |     |         |   |   |   |   | × |   |     |   |
| EA66 | 沙桶(羽)         |     |         |   |   |   |   | × |   |     |   |
| EA67 | 得点板           |     |         |   | × |   |   |   |   |     |   |
| EA68 | 卓球台           |     |         |   |   |   |   |   |   |     | ○ |
| EA69 | 卓球ネット支柱       |     |         |   |   |   |   |   |   |     | ○ |
| EA70 | 卓球ネット         |     |         |   |   |   |   |   |   |     | ○ |
| EA71 | 卓球マット         |     |         |   |   |   |   | × |   |     |   |
| EA72 | 卓球ボール         |     |         |   |   |   |   | × |   |     |   |
| EA73 | 防玉フェンス        |     |         |   |   |   |   |   |   | ×   |   |
| EA74 | 得点板           |     |         |   | × |   |   |   |   |     |   |
| EA75 | カーブ7°         |     |         |   |   |   |   | × |   |     |   |
| EA76 | 縄跳び           |     |         |   |   |   |   | × |   |     |   |
| EA77 | 短縄(団体用刃比6m)   |     |         |   |   |   |   | × |   |     |   |
| EA78 | 長縄(網比30m)     |     |         |   |   |   |   | × |   |     |   |
| EA79 | 小学生用ネット       |     | ×       |   |   |   |   |   |   |     |   |
| EA80 | ゴムボール(赤)      |     |         |   |   |   |   | × |   |     |   |
| EA81 | ゴムボール(白)      |     |         |   |   |   |   | × |   |     |   |
| EA82 | ゴムボール(緑)      |     |         |   |   |   |   | × |   |     |   |
| EA83 | ゴムボール(黄色)     |     |         |   |   |   |   | × |   |     |   |
| EA84 | ゴムボール(青)      |     |         |   |   |   |   | × |   |     |   |
| EA85 | ストップウォッチ      |     |         |   |   |   |   |   |   |     |   |
| EA86 | テニスケット(小学生用)  |     |         |   |   |   |   |   |   |     |   |
| EA87 | テニスボール        |     |         |   | × |   |   |   |   |     |   |
| EA88 | テニスネット        |     |         |   | × |   |   |   |   |     |   |
| EA89 | テニスネット用支柱     |     |         |   | × |   |   |   |   |     |   |
| EA90 | 床線引き用カーブ      |     |         |   |   |   |   | × |   |     |   |
| EA91 | ネット用鋼製カーブ     |     |         |   |   |   |   | × |   |     |   |
| EA92 | ボールカーブ        |     |         |   |   |   |   |   |   |     | ○ |

選定基準

- 1 カリキュラムで取り扱われているかどうか
- 2 教科書の内容に沿っているかどうか
- 3 教師の養成所の訓練内容にあり教師がいるかどうか
- 4 現場の教師が現在実際に使って教えているかどうか
- 5 消耗品でないこと
- 6 学校外に容易に運び出せ個人所有となる可能性が少ないこと
- 7 維持管理に問題がないこと及びその他の要因  
(リストに入っている他の機材が代用可能。使用頻度が著しく少ないもの等)

表3-6 教育機材の選定(7)

| No    | 要請品目       | 農業 | 品目の選択基準 |   |   |   |   |   |   | 必要性 |
|-------|------------|----|---------|---|---|---|---|---|---|-----|
|       |            |    | 1       | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |     |
| AG    | 菜園セット      |    |         |   |   |   |   |   |   |     |
| AG1-1 | 小マカヅリ      |    |         | × |   |   |   |   |   |     |
| AG1-2 | 小踏み鋤       |    |         | × |   |   |   |   |   |     |
| AG1-3 | 小マヅリ (草刈用) |    |         | × |   |   |   |   |   |     |
| AG2   | 大マカヅリ      |    |         | × |   |   |   |   |   |     |
| AG2-1 | 大 小踏み鋤     |    |         | × |   |   |   |   |   |     |
| AG3   | シャベル (大)   |    |         | × |   |   |   |   |   |     |
| AG4   | つるはし       |    |         | × |   |   |   |   |   |     |
| AG5   | 金てこ        |    |         | × |   |   |   |   |   |     |
| AG6   | ジョウロ       |    |         | × |   |   |   |   |   |     |
| AG7   | スプレー       |    |         | × |   |   |   |   |   |     |
| AG8   | 一輪車        |    |         | × |   |   |   |   |   |     |

表3-6 教育機材の選定(8)

| No   | 要請品目                     | 工作 | 品目の選択基準 |   |   |   |   |   |   | 必要性 |
|------|--------------------------|----|---------|---|---|---|---|---|---|-----|
|      |                          |    | 1       | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |     |
| W1   | ノギリ 18"                  |    |         |   | × |   |   |   |   |     |
| W2   | かき (刃)                   |    |         |   | × |   |   |   |   |     |
| W3   | 金槌 釘抜き付き                 |    |         |   | × |   |   |   |   |     |
| W4   | ミ 1/4"、1/2"、1"           |    |         |   | × |   |   |   |   |     |
| W5   | ヤスリ                      |    |         |   |   |   |   |   |   |     |
| W5-1 | 三角                       |    |         |   | × |   |   |   |   |     |
| W5-2 | 平                        |    |         |   | × |   |   |   |   |     |
| W5-3 | ヤスリセット                   |    |         |   | × |   |   |   |   |     |
| W624 | 研磨機                      |    |         |   |   |   |   |   |   |     |
| W6-1 | 粗                        |    |         |   | × |   |   |   |   |     |
| W6-2 | 細                        |    |         |   | × |   |   |   |   |     |
| W7   | 木槌                       |    |         |   | × |   |   |   |   |     |
| W8   | マーカ                      |    |         |   | × |   |   |   |   |     |
| W9   | ベンチプレス (作業台)             |    |         |   | × |   |   |   |   |     |
| W10  | 手動式穴あけ器<br>(1/4"、3/8"の刃) |    |         |   | × |   |   |   |   |     |
| W11  | ねじ回し (フラス、ヒラ型)           |    |         |   | × |   |   |   |   |     |
| W12  | かかス (計測両脚器)              |    |         |   | × |   |   |   |   |     |
| W13  | 椅子                       |    |         |   | × |   |   |   |   |     |
| W14  | 道具置き棚                    |    |         |   | × |   |   |   |   |     |
| W15  | 巻き尺 スイール (3.5m)          |    |         |   | × |   |   |   |   |     |
| W16  | 定規 スイール                  |    |         |   | × |   |   |   |   |     |
| W17  | ヒラノ                      |    |         |   | × |   |   |   |   |     |
| W18  | 砥石                       |    |         |   | × |   |   |   |   |     |
| W19  | 弓ノ (刃)                   |    |         |   | × |   |   |   |   |     |
| W20  | ペンチ                      |    |         |   | × |   |   |   |   |     |
| W21  | 定規 (木製 4折)               |    |         |   | × |   |   |   |   |     |
| W22  | クランプ                     |    |         |   | × |   |   |   |   |     |

- 選定基準
- 1 カリキュラムで取り扱われているかどうか
  - 2 教科書の内容に沿っているかどうか
  - 3 教師の養成所の訓練内容にあり教師がいるかどうか
  - 4 現場の教師が現在実際に使って教えているかどうか
  - 5 消耗品でないこと
  - 6 学校外に容易に運び出せ個人所有となる可能性が少ないこと
  - 7 維持管理に問題がないこと及びその他の要因  
(リストに入っている他の機材が代用可能。使用頻度が著しく少ないもの等)



表3-6 教育機材の選定(9)

| No   | 要請品目           | 家庭科 | 品目の選択基準 |   |   |   |   |   |   | 必要性 |
|------|----------------|-----|---------|---|---|---|---|---|---|-----|
|      |                |     | 1       | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |     |
| HS1  | 包丁             |     |         |   |   |   |   | X |   |     |
| HS2  | 人参皮むき          |     |         |   |   |   |   | X |   |     |
| HS3  | フォーク           |     |         |   |   |   |   | X |   |     |
| HS4  | スプーン           |     |         |   |   |   |   | X |   |     |
| HS5  | ポット            |     |         |   |   |   |   | X |   |     |
| HS6  | フライパン          |     |         |   |   |   |   | X |   |     |
| HS7  | コップ スケール (金属製) |     |         |   |   |   |   | X |   |     |
| HS8  | トースター          |     |         |   |   |   |   | X |   |     |
| HS9  | フライ返し          |     |         |   |   |   |   | X |   |     |
| HS10 | ハンドレス (大)      |     |         |   |   |   |   | X |   |     |
| HS11 | やかん            |     |         |   |   |   |   | X |   |     |
| HS12 | ろ棒             |     |         |   | X |   |   | X |   |     |
| HS13 | 冷蔵庫            |     |         |   | X |   |   |   |   |     |
| HS14 | ナイフセット         |     |         |   |   |   |   | X |   |     |
| HS15 | ミサー            |     |         |   |   |   |   | X |   |     |
| HS16 | 野菜細切器          |     |         |   |   |   |   | X |   |     |
| HS17 | 鍋              |     |         |   |   |   |   | X |   |     |
| HS18 | コップ            |     |         |   |   |   |   | X |   |     |
| HS19 | 野菜切包丁          |     |         |   |   |   |   | X |   |     |
| HS20 | 巻き尺            |     |         |   |   |   |   | X |   |     |
| HS21 | ガスコンロ          |     |         |   |   |   |   | X |   |     |
| HS22 | デックセット         |     |         |   |   |   |   | X |   |     |
| HS23 | 食卓用ナイフ         |     |         |   |   |   |   | X |   |     |

表3-6 教育機材の選定(10)

| No  | 要請品目          | 美術1 | 品目の選択基準 |   |   |   |   |   |   | 必要性 |   |
|-----|---------------|-----|---------|---|---|---|---|---|---|-----|---|
|     |               |     | 1       | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |     |   |
| A1  | 黒板 (大)        |     |         |   |   |   |   |   |   | X   |   |
| A2  | ホワイトボード (可動式) |     |         |   |   |   |   |   |   | X   |   |
| A3  | 洗い場           |     |         |   |   |   |   |   |   | X   |   |
| A4  | カップボード        |     |         |   |   |   |   |   |   | X   |   |
| A5  | 生徒用机          |     |         |   |   |   |   |   |   | X   |   |
| A6  | 生徒用椅子         |     |         |   |   |   |   |   |   | X   |   |
| A7  | 乾燥フレーム        |     |         |   |   | X |   |   |   |     |   |
| A8  | 画板            |     |         |   |   |   |   |   |   |     | ○ |
| A9  | 教師用机          |     |         |   |   |   |   |   |   | X   |   |
| A10 | 教師用椅子         |     |         |   |   |   |   |   |   | X   |   |

選定基準

- 1 カリキュラムで取り扱われているかどうか
- 2 教科書の内容に沿っているかどうか
- 3 教師の養成所の訓練内容にあり教師がいるかどうか
- 4 現場の教師が現在実際に使って教えているかどうか
- 5 消耗品でないこと
- 6 学校外に容易に運び出せ個人所有となる可能性が少ないこと
- 7 維持管理に問題がないこと及びその他の要因  
(リストに入っている他の機材が代用可能。使用頻度が著しく少ないもの等)

表3-6 教育機材の選定(11)

| No  | 要請品目                       | 美術2 | 品目の選択基準 |   |   |   |   |   |   | 必要性 |   |
|-----|----------------------------|-----|---------|---|---|---|---|---|---|-----|---|
|     |                            |     | 1       | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |     |   |
| A11 | テーブル                       |     |         |   |   |   |   |   |   | X   | ○ |
| A12 | 展示用ボード 8'×4'×6mm           |     |         |   |   |   |   |   |   |     |   |
| A13 | 取納棚                        |     |         |   |   |   |   |   |   | X   |   |
| A14 | ペーパーカッター                   |     |         |   |   |   |   |   | X |     |   |
| A15 | 生徒図画用 椅子                   |     |         |   |   |   |   |   |   | X   |   |
| A16 | 生徒用イーゼル                    |     |         |   |   | X |   |   |   |     |   |
| A17 | 油絵用ナイフ                     |     |         |   |   |   |   |   |   |     |   |
| A18 | 鉛筆削り                       |     |         |   |   |   |   |   | X |     |   |
| A19 | はさみ                        |     |         |   |   |   |   |   | X |     |   |
| A20 | 鉛筆 六角形 (消しゴムなし)            |     |         |   |   |   |   |   |   |     |   |
|     | B                          |     |         |   |   | X |   |   |   |     |   |
|     | 2B                         |     |         |   |   | X |   |   |   |     |   |
|     | 3B                         |     |         |   |   | X |   |   |   |     |   |
|     | 5B                         |     |         |   |   | X |   |   |   |     |   |
| A21 | 消しゴム                       |     |         |   |   | X |   |   |   |     |   |
| A22 | 油絵用ナイフ スワイス                |     |         |   |   |   |   |   |   |     |   |
|     | No. 011                    |     |         |   |   |   |   |   | X |     |   |
|     | No. 019                    |     |         |   |   |   |   |   | X |     |   |
|     | No. 022                    |     |         |   |   |   |   |   | X |     |   |
|     | No. 024                    |     |         |   |   |   |   |   | X |     |   |
| A23 | 画用紙                        |     |         |   |   |   |   |   | X |     |   |
| A24 | 水性絵の具セット                   |     |         |   |   |   |   |   |   |     |   |
|     | 18色                        |     |         |   |   | X |   |   |   |     |   |
|     | 12色                        |     |         |   |   | X |   |   |   |     |   |
| A25 | 油絵用ふで (丸)                  |     |         |   |   |   |   |   |   |     |   |
|     | 1号 (毛長) 1/4"               |     |         |   |   | X |   |   |   |     |   |
|     | 5号 19/32"                  |     |         |   |   | X |   |   |   |     |   |
|     | 7号 3/4"                    |     |         |   |   | X |   |   |   |     |   |
|     | 10号 1"                     |     |         |   |   | X |   |   |   |     |   |
| A26 | 油絵用筆 (平)                   |     |         |   |   |   |   |   |   |     |   |
|     | 1F号 幅 3/16" 毛長 5/8"        |     |         |   |   | X |   |   |   |     |   |
|     | 2F号 1/4" 11/16"            |     |         |   |   | X |   |   |   |     |   |
|     | 4F号 幅 7/16" 毛長 13/16"      |     |         |   |   | X |   |   |   |     |   |
|     | 8F号 13/16" 15/16"          |     |         |   |   | X |   |   |   |     |   |
| A27 | プラスチック消しゴム 2号 1/2" × 7/16" |     |         |   |   | X |   |   |   |     |   |
| A28 | ホスター 1セット                  |     |         |   |   | X |   |   |   |     |   |
| A29 | クレヨン                       |     |         |   |   |   |   |   |   |     |   |
|     | 24色外箱                      |     |         |   |   | X |   |   |   |     |   |
|     | 12色                        |     |         |   |   | X |   |   |   |     |   |
| A30 | 防水黒ペン                      |     |         |   |   | X |   |   |   |     |   |
| A31 | リナリウム 4"×6"、6"×8"、12"×12"  |     |         |   |   | X |   |   |   |     |   |
| A32 | ナイフ                        |     |         |   |   | X |   |   |   |     |   |
| A33 | 印刷用リターフォーム                 |     |         |   |   | X |   |   |   |     |   |
| A34 | 印刷インク (黄色、青、緑、赤、黒)         |     |         |   |   | X |   |   |   |     |   |
| A35 | ヤツク紙                       |     |         |   |   | X |   |   |   |     |   |
| A36 | 顔料 (灰色 又は 茶色)              |     |         |   |   | X |   |   |   |     |   |
| A37 | アクリル絵具 各色                  |     |         |   |   | X |   |   |   |     |   |
| A38 | フェイスアップ                    |     |         |   |   | X |   |   |   |     |   |
| A39 | 刀                          |     |         |   |   | X |   |   |   |     |   |
| A40 | 油性絵具                       |     |         |   |   | X |   |   |   |     |   |
| A41 | ペーパーカッター                   |     |         |   |   | X |   |   |   |     |   |

選定基準

- 1 カリキュラムで取り扱われているかどうか
- 2 教科書の内容に沿っているかどうか
- 3 教師の養成所の訓練内容にあり教師がいるかどうか
- 4 現場の教師が現在実際に使って教えているかどうか
- 5 消耗品でないこと
- 6 学校外に容易に運び出せ個人所有となる可能性が少ないこと
- 7 維持管理に問題がないこと及びその他の要因  
(リストに入っている他の機材が代用可能。使用頻度が著しく少ないもの等)

表 3 - 6 教育機材の選定 (12)

| No  | 要請品目                     | 音楽        | 品目の選択基準 |   |   |   |   |   |   | 必要性 |   |
|-----|--------------------------|-----------|---------|---|---|---|---|---|---|-----|---|
|     |                          |           | 1       | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |     |   |
| M1  | 1-5 年用                   |           |         |   |   |   |   |   |   |     | ○ |
| M2  | サイトラム                    | ヘルト スティック |         |   |   |   |   |   |   |     | ○ |
| M3  | テナードラム                   | ヘルト スティック |         |   |   |   |   |   |   |     | ○ |
| M4  | バスドラム                    | ヘルト スティック |         |   |   |   |   |   |   |     | ○ |
| M5  | 鍵盤ハーモニカ                  | フルト       |         |   |   |   |   |   |   |     | ○ |
| M6  | アコーディオン (小)              |           |         |   |   |   |   |   |   |     | ○ |
| M7  | シンバル 14"                 | 組         |         |   |   |   |   |   |   |     | ○ |
| M8  | 鍵盤ハーモニカ                  | ソプラノ      |         |   |   |   |   |   |   |     | ○ |
| M9  | 6-7 年用                   |           |         |   |   |   |   |   |   |     | ○ |
| M10 | バスドラム                    | 支持 スティック  |         |   |   |   |   |   |   |     | ○ |
| M11 | サイトラム                    | ヘルト スティック |         |   |   |   |   |   |   |     | ○ |
| M12 | シンバル 7" と 10"            |           |         |   |   |   |   |   |   |     | ○ |
| M13 | トライアングル                  |           |         |   |   |   |   |   |   |     | ○ |
| M14 | タンバリン                    |           |         |   |   |   |   |   |   |     | ○ |
| M15 | ハンドカスネット                 |           |         |   |   |   |   |   |   |     | ○ |
| M16 | プラス ヘル                   |           |         |   |   |   |   |   |   |     | ○ |
| M17 | マラカス                     |           |         |   |   |   |   |   |   |     | ○ |
| M18 | 木琴                       |           |         |   |   |   |   |   |   |     | ○ |
| M19 | デジタルカシオ 49 鍵 (電動式 220v)  |           |         |   |   |   |   |   |   |     | ○ |
| M20 | ピアノ                      |           |         |   |   |   |   |   |   |     | ○ |
| M21 | オルガン                     |           |         |   |   |   |   |   |   |     | ○ |
| M22 | リコーダー ソプラノ 33cm 音域 c2-d4 |           |         |   |   |   |   |   |   |     | ○ |
| M23 | 木製                       |           |         |   |   |   |   |   |   |     | ○ |

表 3 - 6 教育機材の選定 (13)

| No   | 要請品目        | 保健 1 | 品目の選択基準 |   |   |   |   |   |   | 必要性 |   |   |
|------|-------------|------|---------|---|---|---|---|---|---|-----|---|---|
|      |             |      | 1       | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |     |   |   |
| EE01 | 薬箱 スチール製    |      |         |   |   |   |   |   |   |     | × | ○ |
| EE02 | 視力検査器       |      |         |   |   |   |   |   |   |     |   | ○ |
| EE03 | 座高計         |      |         |   |   |   |   |   |   |     |   | ○ |
| EE04 | 児童体重計       |      |         |   |   |   |   |   |   |     |   | ○ |
| EE05 | 身長計         |      |         |   |   |   |   |   |   |     |   | ○ |
| EE06 | スタント 血圧計    |      |         |   |   |   |   |   |   |     |   | ○ |
| EE07 | 聴診器 (血圧測定用) |      |         |   |   |   |   |   |   |     |   | ○ |
| EE08 | 開口器 ハイスル式   |      |         |   |   |   |   |   |   |     | × | ○ |
| EE09 | 3 ヲ組 脚盆     |      |         |   |   |   |   |   |   |     | × | ○ |
| EE10 | 安心尿器 (男女兼用) |      |         |   |   |   |   |   |   |     | × | ○ |

選定基準

- 1 カリキュラムで取り扱われているかどうか
- 2 教科書の内容に沿っているかどうか
- 3 教師の養成所の訓練内容にあり教師がいるかどうか
- 4 現場の教師が現在実際に使って教えているかどうか
- 5 消耗品でないこと
- 6 学校外に容易に運び出せ個人所有となる可能性が少ないこと
- 7 維持管理に問題がないこと及びその他の要因  
(リストに入っている他の機材が代用可能。使用頻度が著しく少ないもの等)

表3-6 教育機材の選定(14)

| No   | 要請品目                    | 保健2 | 品目の選択基準 |   |   |   |   |   |   | 必要性 |   |
|------|-------------------------|-----|---------|---|---|---|---|---|---|-----|---|
|      |                         |     | 1       | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |     |   |
| EE11 | 担架 70cm×170cm 製 米式      |     |         |   |   |   |   |   |   |     | ○ |
| EE12 | 体温計                     |     |         |   |   |   | × |   |   |     |   |
| EE13 | 胸囲用巻き尺                  |     |         |   |   |   | × |   |   |     |   |
| EE14 | 薬品保存箱                   |     |         |   |   |   | × |   |   |     |   |
| EE15 | 医療用 リネンセット              |     |         |   |   |   | × |   |   |     |   |
|      | (シーツ 診察枕 診察台用カバー)       |     |         |   |   |   |   |   |   |     |   |
| EE16 | 人体解剖図                   |     |         |   |   |   |   |   | × |     |   |
| EE17 | 爪切り                     |     |         |   |   |   |   |   | × |     |   |
| EE18 | アトレスカット                 |     |         |   |   |   | × |   |   |     |   |
| EE19 | 手洗い鉢 手洗い鉢台              |     |         |   |   |   |   |   | × |     |   |
| EE20 | ピンセット                   |     |         |   |   |   |   |   | × |     |   |
| EE21 | ハサミ                     |     |         |   |   |   |   |   | × |     |   |
| EE22 | 手術用ハサミ                  |     |         |   |   |   |   |   | × |     |   |
| EE23 | 救急箱                     |     |         |   |   |   | × |   |   |     |   |
| EE24 | 脱脂綿 (500gm/100%)        |     |         |   |   |   | × |   |   |     |   |
| EE25 | ガーゼ                     |     |         |   |   |   | × |   |   |     |   |
| EE26 | 救急包帯                    |     |         |   |   |   | × |   |   |     |   |
| EE27 | 添え木                     |     |         |   |   |   | × |   |   |     |   |
| EE28 | 体温計                     |     |         |   |   |   |   |   |   | ×   |   |
| EE29 | 手洗い鉢 30cm               |     |         |   |   |   |   |   |   | ×   |   |
| EE30 | 脱衣籠                     |     |         |   |   |   |   |   |   |     |   |
| EE31 | テーピング テープ<br>(36cm×10m) |     |         |   |   |   | × |   |   |     |   |
| EF01 | 外科用70cm×100cm           |     |         |   |   |   | × |   |   |     |   |
| EF02 | クレープ包帯                  |     |         |   |   |   | × |   |   |     |   |
| EF03 | 17cm×100cm              |     |         |   |   |   | × |   |   |     |   |
| EF04 | 石膏 1箱 12シート             |     |         |   |   |   | × |   |   |     |   |
| EF05 | フレームローション               |     |         |   |   |   | × |   |   |     |   |
| EF06 | 洗眼剤                     |     |         |   |   |   | × |   |   |     |   |
| EF07 | 目薬                      |     |         |   |   |   | × |   |   |     |   |
| EF08 | バンド10cm                 |     |         |   |   |   | × |   |   |     |   |
| EF09 | バーナール (熱傷治療薬)           |     |         |   |   |   | × |   |   |     |   |
| EF10 | アスピリン                   |     |         |   |   |   | × |   |   |     |   |
| EF11 | グリセリン                   |     |         |   |   |   | × |   |   |     |   |
| EF12 | 消毒アルコール                 |     |         |   |   |   | × |   |   |     |   |
| EF13 | 石鹼                      |     |         |   |   |   | × |   |   |     |   |
| EF14 | タワシ (大)                 |     |         |   |   |   | × |   |   |     |   |
| EF15 | タワシ (小)                 |     |         |   |   |   | × |   |   |     |   |
| EF16 | かゆみ止め                   |     |         |   |   |   | × |   |   |     |   |
| EF17 | 防虫 17cm                 |     |         |   |   |   | × |   |   |     |   |

選定基準

- 1 カリキュラムで取り扱われているかどうか
- 2 教科書の内容に沿っているかどうか
- 3 教師の養成所の訓練内容にあり教師がいるかどうか
- 4 現場の教師が現在実際に使って教えているかどうか
- 5 消耗品でないこと
- 6 学校外に容易に運び出せ個人所有となる可能性が少ないこと
- 7 維持管理に問題がないこと及びその他の要因  
(リストに入っている他の機材が代用可能。使用頻度が著しく少ないもの等)

### 3-2-5 教育家具・備品の妥当性

#### (1) 品目の妥当性

要請された家具・備品リストは既存の他校建設当時の家具リストがそのまま添付されており、今回要請された施設内容と整合せず、品目・数量とも幾つかの過不足が見受けられる。そのためこのリストの基本的な考え方のみ踏襲し、各部屋の使用形態に則り学校活動上最小限必要な家具・備品を選定の対象とする。

#### (2) 仕様の妥当性

生徒用家具、教職員用の家具については、教育省により作成された標準デザインを準用する。これに無い家具についても、同程度の仕様を基本とすると共に、修理や補給が容易なものとする。また備品については高度かつ高価なものは避け、現地で容易に調達可能なものから選定し、将来の修理・補給体制の確認できたものを選定の対象とする。

#### (3) 数量の妥当性

数量については、建築計画において各室に設定した使用人数、使用方法に照らし、必要な数量を基本とするが、2部制を実施していることから、午前・午後で兼用が可能な家具・備品については兼用する。

教育省は教室等の生徒用家具について、将来に生徒数が増加した場合に対応が可能なようにと、1教室の基本人数である30以上の家具を要請しているが、これについては施設規模設定等、本計画の基本前提に反するため考慮しない。また家具・備品のスペアは考慮しない。

### 3-3 基本設計

#### 3-3-1 設計方針

##### (1) 自然条件に対する方針

- a) 朝夕の教室への強い日射と雨期の南西モンスーンによる教室への雨の吹き込みを避けるために、普通教室棟の配置を東西軸とする。
- b) 高温多湿の気候を考え、各種各室の配置は自然通風、通気を心がけると共に、各居室には天井扇を設置する。
- c) 開口部を解放していても雨が入らないよう、窓の上には庇やバルコニーを設ける。
- d) 建物が潮風にさらされることを考え、家具も含めスチールの使用を極力避ける。
- e) サイトが埋立地であることから、不動沈下等に対して強固な基礎設計を行う。
- f) 地震発生の記録はなく、世界の地震発生地域からも外れているが、設計上は安全性の確保の点から、ある程度の横力を考慮した構造設計を行う。
- g) 雨季における水位上昇に対処するため、一階床面を道路面から 700mm 高く設定する。

##### (2) 社会条件に対する方針

###### a) 土地の有効利用について

高密度の島での貴重な敷地を有効利用し、校庭を極力広くとるために、教室棟を4階建てとする。また、マレ島の人口密集が激しく子供たちの遊び場や活動の場が不足していることを考慮し、建物の屋上を運動広場として有効利用し、さらには校庭に連続してピロティをとり多目的に利用できるようにする。

###### b) 多様な学校施設の利用に対する配慮

本計画においては、児童のクラブ活動等の課外活動や地域への施設開放を含め、多様な学校施設の利用に対応できる施設計画とする。

###### c) 宗教上の特殊性に対する配慮

敬虔なイスラム教国家であることを理解し、祈禱室、フアラージヨ（浄め用水場）を設ける。

###### d) W I D 配慮について

同国はイスラム教が国教となっているが、他のイスラム国家と比べ女性の地位は高く、就学児童数においても男女差は殆ど無い。過去に中等以上の学校を対象に男女を分けて授業を実施する旨の方針があり、公立中学校は男子校と女子校に分けられ、私立中学校においても午前・午後に分け男女別々に授業が実施されている。しかし小学校では男女混合で授業も行われ、また教師については小中を問わず男女教員が授業を行っている。近年男女別学の方針は形骸化する傾向にあり、教育省では今後

中学校の低学年であるグレード6, 7が小学校に移行する際も、男女を分けて授業を実施する予定は無いとしている。従って男女混合の授業形態に基づいた施設計画を立案する。

e) 身体障害者配慮について

本計画においては、身障者用スロープ及び身障者用トイレを設置する。

f) 天水の利用について

近年マレにおいては飲料が可能な公共水道が完備されたが、水道料金が割高なこともあり、今尚天水は一般的な飲料水として利用されている。このため、学校運営維持費の低減を考慮し、雨水を主とした給水計画を行う。

(3) 建築事情に対する方針

a) 建築関連法規・設計標準

同国で建設を行う場合、建物の高さ制限や建物の道路への張り出しの緩和といった基準はあるが、我が国の「建築基準法」に該当するような建設関連の法規は未だ制定されていない。また学校施設建設に関する法規、基準、標準も制定されていない。そのため本計画では日本の設計基準とBS規格を基本とし、現地の既存施設を踏まえ、うえて妥当な設計を行う。

b) ローカルコントラクター

政府などが建設する大規模プロジェクトに入札参加できる能力を有する建設会社はモ国に5~6社程ある。しかしモ国全般に建設事業が少ないことから若干経験不足で、多くの大規模建設事業では海外の業者、又は海外業者/モ国業者のJVで実施されるケースが多い。そのためサブコンとしての能力は十分兼ね備えていると思われる。ローカルコントラクターの積極的な徴用を前提として施工計画を策定し、現地で一般的な方法で施工出来るような設計を行う。

c) ローカルコンサルタント

個人で活動している建築家の他に民間の建築設計事務所が4~5社ある。その内の3社は、公共事業省に籍を置く技術者による組織で、その能力は低くない。施工監理計画の策定に当たっては現地事情に精通したこれらのコンサルタントの協力を得る。

d) 建設資材

原材料を産出せず、建築関連生産施設をほとんど持っていないモルディブの特殊な事情から、建設工事にあたっては、躯体用のセメント、骨材、鉄筋、アルミサッシなどの建具、ペイントなどの仕上げ材、設備機器類などほぼすべてを輸入に頼っているのが現状である。輸入相手国としては、スリ・ランカ、インド、シンガポール、アラブ首長国連邦などが挙げられるが、品質の要求される工業製品を中心としてシ

ンガポールからの輸入が多い。これは、食料を中心とした生活必需品を輸出する定期船がマレとシンガポール間でもっとも便が多く供給が安定しているためでもある。建設資材の調達には、コスト、品質のみならず将来的な維持管理を考慮し、調達先と共にその選定を行う。

e) 輸送計画の検討

工事着手から鉄筋の入手までの期間が工期に大きな影響を与える。「モ」国への貨物輸送は海上輸送が主要であり、工事の工程に影響がでないような海上輸送計画の策定が必須である。スリ・ランカ、シンガポール、インドよりの輸送日数はそれぞれ出航から7日～10日、20日～25日、及び5日～7日である。これらを円滑にするためには、必要書類の準備手続等十分注意を払う必要があり、マレ港における通関手続きについてもモ側関係省庁の十分な協力が必要である。

建設資材を100%輸入に依存せざるをえないため、第三国からの調達材の現場搬入時期を十分考慮した輸送計画を策定する。

f) 労務

首都マレにおいて近年建設ラッシュが続いているが、中小規模の工事が殆どである。それらの工事に携わっているモルディブ人労務者は、世話役及び若干の準熟練工で、熟練労務者の確保は難しい。熟練労務者はスリ・ランカ、インド、フィリピンなどの第三国人に多くを依存している。

施工においては日本人技術者の指導・管理のもと、建設技術の移転を目的としてモルディブ人の職人を最大限に活用すると共に、第三国からの技術者も確保する。

労務者のマレにおける宿舍を敷地周辺に設置するが、その敷地の提供について教育省の内諾を得ている。

(4) 実施機関の維持・管理能力に対する方針

モルディブ国政府の厳しい財政事情を考慮し、施設の維持管理費を極力少なくして、且つ維持管理作業が簡便に行えるような計画案を策定する。また地域住民が、整地作業や塀の建設作業などに協力することで本計画への参加を促し、校舎の維持管理に対しても関心と呼び起こすようにする。

(5) 施設・機材の範囲、グレードの設定に対する方針

要請にかかる施設・機材について我が国の無償資金協力のスキームを踏まえ、上に述べた諸条件に対する方針と前節の基本構想に従って施設設計を行い機材計画を策定する。

計画する施設の範囲は、本計画と並行して建設予定の第5初等学校と同等とする。ただしコンピューター室は、コンピューター実習を伴う授業がカリキュラムにも教員養成所の訓練にも含まれておらず、具体的な将来計画も明らかでないため計画しない。また、体育館は利用率の観点から、二階建てでなく一階建てとする。また仕様については第5初等学校及び教育省資金で建設されてきた既存学校とほぼ同一の



仕様に基づいて設計を行う。しかしこのグレードでは将来鉄部に錆の発生が予想されるため、施設の機能上主要な部分についてはある程度の防錆措置を考慮する。機材については将来の維持管理を容易にするために、モルディブの小中学校で一般に広く使われ、教育省が調達実績を持つ製品を使用し、マレにある業者を通して容易に調達出来る機材を選定する。教育家具・備品については、技術面及び供給能力の点で問題のない現地の家具工場で製造されているものを調達する。

#### (6) 工期に対する方針

本計画施設の建設並びに機材調達には、モルディブ国の建設資材 100 % 輸入という特殊性を勘案しても 12 ヶ月と想定され、単年度での実施に問題は無い。工期的に最も留意しなくてはならない点は、モルディブ側負担工事の進捗、資機材搬入時期である。モルディブ側負担工事については、実施設計の早期段階で確認を行う。建設資材に関しては 100 % 輸入になるため、第三国からの調達材の現場搬入時期を十分考慮した計画を策定する。

### 3-3-2 基本計画

#### (1) 敷地・施設配置計画

校舎の配置計画に当たっては、人口密度の高い島で確保された計画敷地を最大限に活用し、有効利用することが不可欠である。その要点は以下の通りである。

- 1) 建物を敷地境界に沿って配することにより、道路や隣地から隔てられた落ち着いた雰囲気在校庭を確保する。
- 2) 建物は出来る限り外側に寄せ校庭を広くするが、南の隣地建物側は採光と通風を考慮して適当な空地を残す。
- 3) 朝と夕方の室内への強い日射と雨期の南西モンスーンによる雨の吹き込みを避けるために、影響の大きい普通教室棟と体育館は東西を軸として配置する。
- 4) 校庭を広くするために4階建てとした普通教室棟は周囲からの視覚的な圧迫感を柔らげるために隣地側に寄せて配置する。
- 5) 敷地の北側道路が島の幹線道路であるため、当施設のメインエントランスを北西のコーナーに、また登下校時の児童及び送り迎えの父兄の混雑を配慮しサブエントランスを敷地東側に設ける。
- 6) 機能上管理棟はメインエントランスより近い位置に配置する。また体育館は一般市民の利用を考慮し、メインエントランスより近い位置に配置する。

## (2) 建築計画

### 1) 平面計画

校庭を囲い込む形に配された各棟は、配置計画において述べた方針に従い南側を普通教室棟、北側を体育館、東側を特別教室棟、西側を管理棟とする。中庭型配置での人の動線を最短にするために片廊下を校庭側に設け、各室の窓面を道路側にとることを原則とする。また諸室の平面計画においては、高温多湿の気候を考え、通気の確保に留意する。

階段は片廊下の4角に分散配置し、利便性を高めるとともに非常時の2方向避難を確保する。主要室の平面計画は以下の通り。

#### a) 普通教室

各教室は教育省によって計画された第5小学校に習い、6m × 8mの長方形タイプとし、教師と生徒の距離を近づけるために、長辺を壁面とし黒板を設ける。南北は窓面として採光と通風を確保する。

#### b) 特別教室

美術工作室、音楽室、理科室、視聴覚室の4つの特別教室は各々の床面積が70㎡で、それぞれ17㎡の教材、機材の収納スペースとしての準備室を付設する。各教室等からの移動を考えて、4階建ての普通教室棟の東側階段室に隣接した2階と3階に2室ずつ設ける。

#### c) 図書室

図書室は求められる静かさと、1階から4階までの各普通教室からのアクセスの利便性を考慮し、特別教室と対象の位置にある管理棟の3階に独立して設置する。周囲には深い庇のかかったテラスを設け、モンスーン時にも窓を開放できるようにするとともに、好天時における屋外の閲覧スペースとして利用する。

#### d) 体育館

体育館は校内利用のみならず、授業中でも一般の人々に解放されることを考慮し、普通教室棟から離れた1階メインエントランス脇に配置する。南北面に窓面を設けることにより、モンスーン時においても通風による室内換気を容易にする。またステージの両袖へは外部からの出入りができる動線を用意する。

#### e) 職員用諸室

一般事務職員用の事務室及び関連諸室は施設への出入り、管理と受付を行うため、メインエントランス脇の管理棟1階に設置する。

f) 教職員諸室

教職員用の諸室は管理棟の2階に集中して設け、相互の利便性を高める。教員室は普通教室に最も近い場所に設け、主任室は生徒の行動が把握しやすい校庭に迫り出した場所に配置する。また校長室、副校長室は教室、校庭から離れた静けさを保てる所とし、会議室及び相談室は同じ理由からその隣に設ける。

g) 祈禱室

イスラム教の祈禱室は、生徒、職員の両方の利便を考慮し、校庭を開む回廊に面した管理棟と普通教室棟の間に配置する。平面形状は8角形とし、その壁面の一つをメッカの方角に向ける。室への入り口脇にはアブリュージュ(浄め用洗い場)を設ける。

h) 校庭

建物に囲まれた中庭的なスペースを校庭とする。校庭のスペースを更に拡張し、多目的な利用を図るため特別教室棟の1階を校庭とほぼ同じ床レベルのピロティとして解放する。

i) 屋上テラス

特別教室棟の屋上を2方向の階段よりアクセス可能なテラスとし、十分とはいえない校庭、体育館の補助的なスペースとして運動等多目的な利用を図る。

表 3 - 7 計画諸室・室面積 (1)

| 室名    | 数  | 計画面積<br>(㎡)         | 使用目的・対象人員  |
|-------|----|---------------------|--|
| 教育エリア |    |                     |  |
| 一般教室  | 35 | 48.0/教室<br>1,716.39 | 一般授業 (7 学年×5 教室)<br>1 クラス生徒 30 名、教師 1 名を対象。  |
| 美術工作室 | 1  | 90.23               | 美術・工作の授業 (全学年)。家庭科<br>(6 学年) の授業に対応可能とする。<br>1 クラス生徒 30 名 (1 グループ 6 人・5<br>グループ)、教師 1 名を対象。  |
| 準備室   | 1  |                     | 機材収納。  |
| 音楽室   | 1  | 90.23               | 音楽の授業 (全学年)。<br>1 クラス生徒 30 名、教師 1 名を対象。  |
| 準備室   | 1  |                     | 楽器収納。  |
| 理科室   | 1  | 90.23               | 理科 (6-7 学年) の授業。1 クラス生<br>徒 30 名 (1 グループ 6 人・5 グループ)、<br>教師 1 名を対象。  |
| 準備室   | 1  |                     | 薬品・機材収納。理科実験助手 (1 名<br>・常時滞在) の準備室。  |
| 視聴覚室  | 1  | 90.23               | 語学、環境 (1-5 学年) 等 AV 機器を<br>使用した授業。多目的室を兼ねる。  |
| 準備室   | 1  |                     | 教材、機材の収納。  |
| 図書室   | 1  | 100.51              | 一般図書室として。語学 (リーディング)<br>の授業。<br>1 クラスの生徒 30 名を対象とする。<br>図書館司書 2 名常時滞在。<br>3000 ~ 4000 冊対応とする。  |
| 体育館   | 1  | 573.75              | 体育授業、全校集会・発表会等の学校<br>活動。子供用バスケコート 1 面、子供用<br>バレーコート 1 面、バドミントンコート 2 面。<br>1 部の全校数 1050 名が立って入れる。<br>その半数 (525 名) と教職員を足した<br>数約 600 名が着席可能。<br>学校開放では、会議場、集会場、パー<br>ティ会場、試験会場等にも使用される。 |
| ステージ  | 1  |                     | 全校集会・発表会等。   |
| 倉庫    | 3  |                     | 体育器具用倉庫  |
| 小計    |    | 2,751.57            |  |

表3-7 計画諸室・室面積(2)

| 室名        | 数 | 計画面積<br>(m <sup>2</sup> ) | 使用目的・対象人員  |
|-----------|---|---------------------------|--|
| 事務・教職員エリア |   |                           |  |
| ロビー       | — | 廊下に含む                     | 事務・教職員室への入り口。校内掲示。   |
| 一般事務室     | 1 | 132.78                    | 一般事務職員用事務室。<br>秘書2名、会計2名、一般事務8名の<br>各専用机。印刷員1名、用務員1名、<br>連絡員2名、清掃員5名用テーブル。 |
| 事務長室      | 1 |                           | 事務長(1名)。金庫等を置く。  |
| 印刷室       | 1 |                           | 印刷機の設置。紙類・文具置き場を兼<br>ねる。   |
| 給湯室       | 1 |                           | 事務職員用の給湯室。流し、TPO。  |
| 会議室       | 1 | 20.48                     | 校長1名、副校長2名、主任8名、事<br>務長1名の計14名程度を対象  |
| 校長室       | 1 | 43.79                     | 校長室(1名)  |
| 校長用トイレ    | 1 |                           | 学校長専用のトイレ  |
| 秘書室       | 1 |                           | 学校長、副校長用の秘書室。<br>秘書(午前午後各1名)計2名の机  |
| 副校長室      | 1 |                           | 副校長(2名:午前・午後各1名)<br>各人専用机。   |
| 教職員室      | 1 |                           | 教職員用の部屋。<br>1部制当り52人を対象。<br>共用のテーブル、各人専用のロッカーを設置。                          |
| 教材庫       | 1 | 169.49                    | 各種教材用倉庫。資料倉庫。  |
| 教職員休憩室    | 1 |                           | 教職員用給湯室。休憩所。<br>1部制当りの教員の10%、5名程度が<br>同時利用と仮定。                             |
| 主任室       | 1 |                           | 50.89  |
| 小計        |   | 417.43                    |  |

表3-7 計画諸室・室面積(3)

| 室名                  | 数 | 計画面積<br>(㎡) | 使用目的・対象人員                             |
|---------------------|---|-------------|---------------------------------------|
| 付属サービスエリア           |   |             |                                       |
| 相談室                 | 1 | 11.38       | 生徒の指導。<br>カウンセラー(1名)常時滞在。             |
| 保健室                 | 1 | 14.03       | けが、病気の応急処置。身体測定の実施。保健看護員常時滞在。         |
| 体育倉庫                | 1 | 38.62       | 屋外用体育器具、屋外用機材、掃除用具等の収納。               |
| 倉庫                  | 2 |             | 階段下倉庫。書類の保管等。                         |
| 祈祷室                 | 1 | 53.02       | イスラム教祈祷室。コーランの授業・課外授業の実施。屋外に浄め用洗い場設置。 |
| 職員用便所               | 2 | 300.62      | 事務職員用便所(1階)、教職員用便所(2階)、各便所共男女。        |
| 生徒用便所               | 8 |             | 教室棟は各階に2カ所、水飲み場を併設。1階に身障者用便所(1ヶ所)。    |
| 体育館用便所              | 1 |             | 主に体育館利用者のための便所。グラウンド利用者の便所も兼ねる。足洗い場。  |
| 機械室                 | 1 | 31.91       | 給水用ポンプ設置。                             |
| 電気機械室               | 1 |             | 変圧器設置。                                |
| クワイエットエリア<br>(ピロティ) | 1 | 1,847.37    | 屋外授業及び雨天時の体育授業の実施                     |
| 廊下等                 | - |             | 廊下、階段、ホール等                            |
| 小計                  |   | 2,298.95    |                                       |
| 合計                  |   | 5,467.95    |                                       |

## 2) 断面計画

### a) 1階床レベル

雨期の集中豪雨による冠水を避けるために、1階床レベルを道路面より 700mm 上に設定する。また室内の床レベルは廊下を介して雨の吹き込みに備えて廊下より 50mm 上げる。

### b) 階高

各棟の基準階高を 3.5m とし、天井高を高く取ることにより、居住域の温度上昇を低減すると共に、50～70 m<sup>2</sup>の床面積に対応した良好な教育環境を確保する。

### c) スラブ構造

各階の床を鉄筋コンクリート造のスラブとすることにより、上下階の遮音性を高めると共に、最上階においては断熱材と一体となって十分な屋根の断熱性を確保する。

### d) 屋根形状

屋根形状は屋上を利用する一部の陸屋根を除き、金属板による切妻屋根とする。これは多雨地域における適性と共に、雨水を利用する現地の特殊性に起因する。

### e) 庇

日中の室内に差し込む直射日光を避け、また降雨時に窓を開放して室内換気を取るため窓面の上部には庇を設ける。

## 3) 構造計画

### a) 地盤状況

計画地は海岸近くの埋め立て地で、敷地は 200 フィート (約 60m) 角の正方形をした平坦な土地である。ボーリング調査は敷地の 4 隅で計 4 カ所、深さは約 10m で各 1m 毎に標準貫入試験 (SPT) を実施した。標準貫入試験の N 値は、GL-1m 付近で 6～18、深度を増す毎に漸増し、深度 2m で 10～21、3m で 10～26、4m 以深で概ね 20～30 の値を示している。

土壌を構成する土質は風化したサンゴを主体とするサンゴ礫 (れき) を混入する砂質土で、中位からやや締まった状態にある。上層構成は各ボーリング孔ともに大差はなく、埋め立て地に見られる瓦礫や、腐蝕物等の混入は見られない。またボーリング孔の孔内水位は GL-0.4～0.9m と水位は浅い。

### b) 基礎形式

計画建物は鉄筋コンクリート造 4 階建ての教室棟、3 階建ての特別教室棟、3 階建て一部 2 階建ての管理棟、平屋建ての体育館棟で構成され、建物重量は最大で 5 t/m<sup>2</sup>程度となる。ボーリング結果の N 値より地盤の許容支持力を推測すると、10 t/m<sup>2</sup>～12 t/m<sup>2</sup>程度で、建物を直接地盤に支持させることが可能である。従って基礎

形式は直接基礎の布基礎若しくは独立フーチング基礎となる。  
また地下水位が浅いことを考慮し、基礎深さは地表面より1m前後とする。

c) 地盤の許容支持力

計画地南側には幅約25mの既存倉庫が敷地の東西方向、敷地境界線沿いに建っており、内部にはセメント、LPGタンク、砂利等が貯蔵されている。また北側のオープンスペースにも砂、砂利の集積所として使用されており、敷地の地盤は既に大きな荷重を受け締まった状態にあるといえる。特に南側の校舎棟4階建て部分は袋詰めセメントが大量にストックされていたことから、N値もGL-1mで18～26と高い値を示している。従って設計用の許容支持力は教室棟部分とその他の部分に分け以下の値に設定する。

教室棟部分……………10 t/m<sup>2</sup>

その他の部分……………8 t/m<sup>2</sup>

尚上記の値はN値よりの推定値であり、詳細設計時には平板載荷試験により支持力の最終確認を行うものとする。

d) 上部構造の構造方式

建設地のモルディブはインドの南方、スリランカの西方に位置し、地震活動は皆無に近い地域である。従って設計上は風以外に横方向の抵抗要素は不要となるため、構造体は鉄筋コンクリート造の純ラーメン構造とし、原則として横方向の抵抗要素としての壁はコンクリートブロック造の非耐力壁とする。現地ではコンクリート造の壁としてはコンクリートレンガブロックが一般的ではあるが、本計画地の地耐力を考慮し軽量化を図る目的で、軽量のホーローブロックを採用する。以下に各棟の構造方式を示す。

- 1) 管理棟 : 3階建て (一部2階建て及び平屋)  
鉄筋コンクリート造ラーメン構造  
壁; ホーローコンクリートブロック造 (非構造壁)
- 2) 教室棟 : 4階建て  
鉄筋コンクリート造ラーメン構造  
壁; ホーローコンクリートブロック造 (非構造壁)
- 3) 特別教室棟 : 3階建て  
鉄筋コンクリート造ラーメン構造  
壁; ホーローコンクリートブロック造 (非構造壁)
- 4) 体育館棟 : 平屋建て
  - ・短辺方向一般部 : 柱; 鉄筋コンクリート造独立柱  
梁; 鉄骨ラチス構造
  - ・同上妻部 : 鉄筋コンクリート構造  
壁; ホーローコンクリートブロック造
  - ・桁 (長辺) 方向 : 鉄筋コンクリート造ラーメン構造  
壁; ホーローコンクリートブロック造



e) 準拠する基準

本計画の構造設計は原則として日本の構造設計基準に準拠して行う。ただし日本の設計基準は大きな地震を前提としているため、鉄筋コンクリート造柱の基準を適用した場合、柱断面が過大となり不経済となるため、当該部分の設計は ACI (American Concrete Institute) の基準に従う。以下に準拠する基準を示す。

- 1) 日本建築学会 : 鉄筋コンクリート構造設計基準
- 2) 日本建築学会 : 鋼構造設計基準
- 3) ACI : Building Code Requirement for Reinforced Concrete (ACI 318)

f) 使用材料

- 1) コンクリート : 圧縮強度  $f_c = 210 \text{ kg/c m}^2$  又は  $180 \text{ kg/c m}^2$  (但し 4 面シワラー強度) 土壌中又は地下水中に硫酸塩の含有が認められるためサルフィドレジスティングセメントを使用し、水セメント比を 50%以下とする。
- 2) 鉄筋 :  $d \geq 16\text{mm}$  降伏強度  $f_g \geq 4000 \text{ kg/c m}^2$   
 $d < 16\text{mm}$  降伏強度  $f_g \geq 2800 \text{ kg/c m}^2$
- 3) 鉄骨 : 降伏強度  $f_g \geq 2400 \text{ kg/c m}^2$
- 4) コンクリートブロック : JIS A5406 A 種同等品

g) 設計荷重

構造設計は以下の設計荷重を想定し計算を行う。

1) 積載荷重

表 3 - 8 設計荷重  $\text{kg/m}^2$

| 部位        | 床小梁用 | 架構・基礎用 |
|-----------|------|--------|
| 小屋組屋根     | 60   | 30     |
| 陸屋根、非歩行   | 80   | 60     |
| テラス及び歩行屋根 | 230  | 180    |
| 床一般       | 230  | 210    |
| 図書館       | 400  | 300    |

2) 地震荷重 : 考慮せず

3) 風荷重 :  $100\text{kg/m}^2$  (最大風速 40m/秒相当)

4) 電気設備計画

a) 受変電設備

建物内 (南東部) に電気室を設け、11KV の高圧電圧を受電する。電気室内に変電設備を設け、3 相 4 線 400V / 230V にて建物内に配電する。

b) 幹線設備

BS 規格 (英国) に準ずる配管配線方式にて電気室より各所の分電盤へ電力を供給する。

c) 動力設備

以下の設備機器への電力供給と運転制御を行う。

井戸水揚水ポンプ：2台自動交互運転1組

上水用揚水ポンプ：2台自動交互運転1組

各ポンプは教室棟東西にある階段下ポンプ室に設置する。

ポンプ室は地上面より1m程高い位置にあるため、ポンプ室用の排水ポンプは設置しない。

d) 照明設備

照明器具は基本的に天井直付けとし（パイプ吊り式は防錆の観点から基本的に使用しない）、光源は蛍光灯を使用する。非常用照明、避難口誘導灯は設置しない。照度は下記を標準とする。

|               |             |      |
|---------------|-------------|------|
| 普通教室、特別教室、図書室 | ：200～300Lux | ：机上面 |
| 祈禱室           | ：200～300Lux | ：床面  |
| 教職員等執務室       | ：250～350Lux | ：机上面 |
| 体育館／講堂        | ：250～350Lux | ：床面  |
| 廊下及びピロティ      | ：30～50Lux   | ：床面  |

夜間用として、正面玄関駐輪場付近に屋外灯を設ける。

体育館／講堂のステージは、スポットライト（別途工事）・吊りものの用のバトンを設置し、ステージ天井にステージを明るくするベース照明を設置する。ステージにはフットライト（別途工事）用コンセントを設ける。移動式スポットライト用コンセントをキャットウォークに設ける。

e) コンセント

各諸室には適時コンセントを設ける。特別教室には電気器具用としてコンセント（予備の負荷）を設ける。

校長室、副校長室、事務長室、視聴覚室、理科実験準備室にはAC用電源及びスリーブを設ける。事務室、教職員室の各給湯室に電気コンロ（2口）を設置し、このための給電を行う。

f) 放送設備

校内の一般連絡、授業時間の開始・終了用のチャイム機能を備えた放送設備を設ける。放送用スピーカーは普通教室各室には設けず、屋外廊下に設置する。放送設備は一般事務室内に設ける。

体育館には専用の放送設備（マイク、ワイヤレスマイク含む）を設ける。またこの放送設備はステレオと接続可能なものとする。アンプ等はステージ袖に設ける。

g) 電話設備

一般事務室、事務長室、校長室、副校長室、秘書室、スノーホール付室、会議室、職員室には電話（別途工事）用のアウトレットを設け、電話線用に各室を空配管で結ぶ。電話交換機（別途工事）は一般事務室に設ける。

h) 避雷針設備

現地の基準に無いため設けない。

i) 自動火災報知設備

現地の基準に無いため設けない。

5) 給排水衛生設備

a) 井水設備

敷地内に 1 本の井戸を掘削し（「モ」国負担工事）、2 台の揚水ポンプを自動交互運転させ、高架水槽（井戸水専用）に貯水し便所フラッシュ用及び教職員室用給湯室（皿洗い用）に給水する。

b) 上水設備

上水は基本的に雨水の利用を主と考え、市水は雨水枯渇時の補助としてのみ使用する。

床下ピット部分に受水槽を設け（建築躯体利用）、2 台の揚水ポンプを自動交互運転させ、高架水槽（上水用）に貯水し各水栓に給水する。

雨水の水源は建物の雨樋から雨水を集水し、また初期の雨水を捨てるため雨樋の端部に止水弁を設ける。市水の引き込みは敷地内 1 カ所とし、メーターは「モ」国負担で取り付ける。受水槽は雨水、市水の共用とする。

水飲み場、給湯室には浄化用フィルター（ペーパー式、現地調達可能品）を設ける。祈禱室脇のアブリエジヨ（浄め用洗い場）は上水を供給する。

c) 排水設備

各排水口より汚水、雑排水を別系統にて、敷地東西の道路に埋設された下水管に直接放流する。接続箇所は東西 2 カ所とする。

d) 衛生器具設備

生徒用・教師用便所は基本的にアジア式大便器とするが、各便所の男女各 1 ブースに洋式を設ける。校長用便所は洋式とする。

便所のフラッシュは、ブース内にタンクを設けこれにより流す（井戸水使用）。各ブース内には、モスリムシャワーと呼ばれる尻洗浄用の給水栓を設ける。この給水は上水を使用する。

理科室、美術室には各 5 ケのシンクを設ける。ここへの給水は上水とする。

事務室用、教職員室用の各給湯室にはシンクを設ける。ここへの給水は井戸水、上水の 2 系統を用意する。

e) 屋内消火栓設備

現地の法令に規定が無いため設けない。

f) ガス設備

本計画には含めない。

g) 換気設備

以下の各室に換気設備を設ける。

- ・電気室：第3種換気
- ・ポンプ室：第3種換気
- ・校長室用便所：第3種換気

便所、給湯室には換気設備は設けない。

h) 天井扇風機

各居室には天井扇を設ける。また体育館／講堂にも天井扇を設ける。

6) 建築資材計画

本計画に採用する仕上げを、その採用理由及び現地での一般的な工法との比較と共に下表に記す。

表 3-9 材料・工法比較表

|     |    | 一般的現地工法    | 採用予定工法   | 採用理由     |
|-----|----|------------|----------|----------|
| 基礎  |    | 鉄筋コンクリート   | 同 左      | 現地工法に準じる |
| 柱・梁 |    | 鉄筋コンクリート   | 同 左      | 現地工法に準じる |
| 床   | 躯体 | 鉄筋コンクリート   | 同 左      | 現地工法に準じる |
|     | 仕上 | モルタル仕上げ    | 同 左      | 現地工法に準じる |
| 外 壁 | 躯体 | コンクリートブロック | 同 左      | 現地工法に準じる |
|     | 仕上 | 珪藻土®外塗装仕上げ | 同 左      | 現地工法に準じる |
| 屋根  | 躯体 | 木造／鉄骨トラス   | 鉄筋コンクリート | 耐久性、断熱性  |
|     | 仕上 | カラー鉄板      | 亜鉛メッキ鋼板  | 耐久性／防錆   |
| 天井  |    | 珪藻土®外塗装仕上げ | 同 左      | 現地工法に準じる |
| 内 壁 |    | 珪藻土®外塗装仕上げ | 同 左      | 現地工法に準じる |
| 建 具 |    | アルミック／ガラス  | 同 左      | 現地工法に準じる |

(3) 機材計画

1) 教育機材

本計画校に備える教育機材は次頁表に示すとおりとする。

表3-10 教育機材リスト(1)

| No. | 理科機材        |                                  |            |        | 要<br>請<br>番<br>号 | 要<br>請<br>数<br>量 |
|-----|-------------|----------------------------------|------------|--------|------------------|------------------|
|     | 品目          | 仕様概要                             | 数量の根拠      | 数<br>量 |                  |                  |
| 1   | 4mm 7°ワッ    | ワイヤー 長さ 250mm 赤                  | 班 5/教師 5   | 30     | 電気の学習            | S1 30            |
| 2   | 4mm 7°ワッ    | ワイヤー 長さ 250mm 黄色                 | 班 5/教師 5   | 30     | 電気の学習            | S2 30            |
| 3   | 4mm 7°ワッ    | ワイヤー 長さ 250mm 黒                  | 班 5/教師 5   | 30     | 電気の学習            | S3 30            |
| 4   | ワッパワッパ 長方形  | 114 × 65 × 17mm                  | 班 1/教師 1   | 6      | 光の性質の学習          | S4 5             |
| 5   | ワッパワッパ プリズム | 59mm 60° 60° 60°                 | 班 1/教師 1   | 6      | 光の性質の学習          | S5 12            |
| 6   | 電流計         | 2レンジ 1A-5A                       | 班 2/教師 2   | 12     | 電気の学習            | S7 12            |
| 7   | 天秤はかり       | 容量 200g 重りセット付き                  | 班 1/教師 1   | 6      | 量や重さ/釣り合いの学習     | S9 7             |
| 8   | 棒磁石         | 鉄製、長さ 100mm                      | 班 2/教師 2   | 12     | 力の学習             | S11 12           |
| 9   | ビーカー        | 100ml 目盛り付き                      | 班 1/教師 1 ※ | 12     | 各種実験             | S12 12           |
| 10  | ビーカー        | 250ml 目盛り付き                      | 班 1/教師 1 ※ | 12     | 各種実験             | S13 12           |
| 11  | ビーカー        | 600ml 目盛り付き                      | 班 1/教師 1 ※ | 12     | 各種実験             | S14 12           |
| 12  | ベルジャー       | 高 300mm 直径 200mm                 | 教師 1       | 1      | 生物(呼吸)の実験        | S15 1            |
| 13  | パイプ         | クロム/ニッケル 4分径<br>150 × 15 × 1mm 柄 | 教師 1       | 1      | 熱の学習             | S16 1            |
| 14  | ビュレットはさみ    | 120mm × 30mm                     | 班 2/教師 2   | 12     | 各種実験装置           | S17 12           |
| 15  | 豆電球         | 1.5v ソケット付き                      | 班 2/教師 2 ※ | 24     | 電気の実験            | S18 24           |
| 16  | ワッパワッパ      | 220g ポータブル                       | 班 1/教師 2   | 7      | 加熱               | S19 7            |
| 17  | ワッパ         | 250 × 90 × 8                     | 班 2/教師 2   | 12     | 各種実験装置           | S20 12           |
| 18  | 凹レンズ        | ガラス製 直径 75、焦点 2.0                | 班 1/教師 1   | 6      | 光の性質             | S22 6            |
| 19  | 三角フラスコ      | 250ml、耐熱ガラス                      | 班 1/教師 1 ※ | 12     | 各種実験             | S23 12           |
| 20  | 凸レンズ        | ガラス製 直径 75、焦点 2.0                | 班 1/教師 1   | 6      | 光の性質             | S24 6            |
| 21  | 銅口クリップ      | 径 4mm                            | 班 10/教師 10 | 60     | 電気実験装置の組立        | S25 60           |
| 22  | 最高・最低温度計    | 坂氏華氏用 プッシュボタン<br>ケース付き           | 理科室に 1     | 1      | 気温の測定            | S26 2            |
| 23  | 燃焼舟         | 針なし 耐熱約 600°C                    | 教師に 1      | 1      | 各種実験             | S27 1            |
| 24  | スリット        | 1.7 cm 長さ 110mm                  | 班 6/教師 6 ※ | 72     | 各種実験             | S28 72           |
| 25  | 蒸発舟         | 直径 90mm                          | 教師に 1      | 1      | 液体の加熱蒸発実験        | S29 1            |
| 26  | 枝付きフラスコ     | 250 cc ソケット 24/29                | 教師に 1 ※    | 2      | 各種実験             | S31 2            |
| 27  | ピンセット       | 長さ 110mm 丸                       | 教師に 1      | 1      | 生物の観察            | S32 2            |
| 28  | E-ト         | 89mm 4分径                         | 班 2/教師 2   | 12     | 液体の注入・濾過         | S33 12           |
| 29  | 攪拌棒         | ガラス製 5 × 250mm                   | 班 1/教師 1 ※ | 12     | 液体の攪拌            | S35 12           |
| 30  | ガラス管        | 直径 5mm 30/バック                    | 班 3/教師 3   | 1      | 実験装置の部品          | S36 18           |
| 31  | パネ          | 直径 37mm 長さ 32mm                  | 班 1/教師 1   | 6      | 重さの学習や計量         | S37 8            |
| 32  | 虫眼鏡         | 直径 63mm 長さ 145mm                 | 班 1/教師 1   | 6      | 生物の観察や光の学習       | S40 6            |
| 33  | 組み分銅        | 100g ケー入り                        | 班 1/教師 1   | 6      | 重さの釣り合いや計量       | S41 6            |
| 34  | 組み分銅        | 10g ケー入り                         | 班 1/教師 1   | 6      | 重さの釣り合いや計量       | S42 6            |
| 35  | メシリンダー      | 100ml 4分径                        | 班 1/教師 1   | 6      | 体積の学習や液体の計量      | S43 6            |
| 36  | メシリンダー      | 10ml 4分径                         | 班 1/教師 1   | 6      | 体積の学習や液体の計量      | S44 6            |
| 37  | メシリンダー      | 250ml 4分径                        | 班 1/教師 1   | 6      | 体積の学習や液体の計量      | S45 6            |
| 38  | 巻き尺         | 長さ 2m 幅 13mm                     | 班 1/教師 1   | 6      | 計測               | S46 6            |
| 39  | 生徒用顕微鏡      | × 40、× 100、× 400                 | 班 1/教師 1   | 6      | 微生物の観察           | S48 6            |
| 40  | 教師用分子行方セット  | 炭素、酸素、水素                         | 教師 1       | 1      | 分子の学習            | S49 1            |

表3-10 教育機材リスト(2)

| No. | 理科機材    |                           |            |        |             | 要<br>請<br>番<br>号 | 要<br>請<br>数<br>量 |
|-----|---------|---------------------------|------------|--------|-------------|------------------|------------------|
|     | 品目      | 仕様概要                      | 根拠         | 数<br>量 | 使用目的        |                  |                  |
| 41  | 水乳鉢と乳棒  | 磁器 直径 11cm                | 教師 1       | 1      | 個体のすりつぶし    | S52              | 1                |
| 42  | ハカリ加    | 0-10N                     | 班 1 教師 1   | 6      | 重さや力の学習     | S53              | 6                |
| 43  | ハカリ加    | 0-50N                     | 班 1 教師 1   | 6      | 重さや力の学習     | S54              | 6                |
| 44  | 平面鏡     | ガラス製 100mm × 100mm        | 班 1 教師 1   | 6      | 光の学習        | S55              | 6                |
| 45  | 方位磁石    | 直径 20mm                   | 班 1 教師 1   | 6      | 磁力線の学習      | S56              | 6                |
| 46  | 電池受け    | 単一用                       | 班 3 教師 3   | 18     | 電気回路        | S57              | 18               |
| 47  | 丸底フラスコ  | 耐熱ガラス 250ml               | 班 1 教師 1 ※ | 12     | 各種実験        | S59              | 12               |
| 48  | ゴム管     | 直径 5mm × 2m               | 班 1 教師 1   | 1      | 実験装置の組立     | S60              | 7                |
| 49  | 安全棒     | 中学生用                      | 個人 1 教師 1  | 31     | 生徒の安全確保     | S61              | 35               |
| 50  | 刃       | 長さ 113mm 刃 45mm           | 教師 1       | 1      | 生物の学習       | S62              | 1                |
| 51  | アヒゲガラス  | 76, 26, 0.8-1.0 100 枚/箱   | 班 1 教師 1   | 1      | 生物等の観察      | S63              | 12               |
| 52  | カバーガラス  | 18mm、18mm、100 枚/箱         | 班 1 教師 1   | 1      | 生物等の学習      | S64              | 12               |
| 53  | 薬笥      | アクリル 長さ 100mm、幅 4         | 班 3 教師 3   | 18     | 試薬の取り出し     | S65              | 18               |
| 54  | 支持台     | 台 250 × 160mm、口高さ 60cm 付き | 班 2 教師 2   | 12     | 実験装置の部品     | S66              | 12               |
| 55  | ゴム栓     | 直径 21mm                   | 班 1        | 5      | 実験装置の部品     | S67              | 5                |
| 56  | ゴム栓     | 直径 21mm 1 穴               | 班 1        | 5      | 実験装置の部品     | S68              | 5                |
| 57  | ゴム栓     | 直径 31mm 1 穴               | 班 1 教師 1 ※ | 12     | 実験装置の部品     | S69              | 12               |
| 58  | ゴム栓     | 直径 31mm 2 穴               | 班 1 教師 1 ※ | 12     | 実験装置の部品     | S70              | 12               |
| 59  | 注射器     | プラスチック製 100ml             | 班 1 教師 1 ※ | 12     | 圧力や水圧の実験    | S71              | 12               |
| 60  | 試験管ホルダー | 木製 長 180                  | 班 1 教師 1   | 6      | 試験管の取り扱い    | S73              | 6                |
| 61  | 試験管ホルダー | 12 穴                      | 班 1 教師 1   | 6      | 試験管の支持      | S74              | 6                |
| 62  | 試験管     | 耐熱ガラス製 150 × 16 mm        | 班 6 教師 6 ※ | 72     | 各種実験        | S75              | 72               |
| 63  | 試験管     | 耐熱ガラス製 150 × 24 mm        | 班 6 教師 6 ※ | 72     | 各種実験        | S76              | 72               |
| 64  | 温度計     | アルコール (赤) -10 ~ 110 °C    | 班 1 教師 1   | 6      | 一般温度測定      | S77              | 12               |
| 65  | 標本      | 150 × 150 白               | 班 1 教師 1   | 6      | 植物の構造の学習    | S78              | 6                |
| 66  | 鉄製三脚    | 三角形 高さ 200 辺 125mm        | 班 1 教師 1   | 6      | 加熱実験        | S79              | 6                |
| 67  | 試験管ホルダー | アクリル製 長さ 200              | 班 1 教師 1   | 6      | 加熱実験の試験体の支持 | S80              | 6                |
| 68  | 電圧計     | 0-15v                     | 班 2 教師 2   | 12     | 電圧の学習       | S82              | 6                |
| 69  | 寒暖計     | アルコール -30 ~ 50 °C ケース     | 理科室 1      | 1      | 気温の測定       | S83              | 5                |
| 70  | 時計皿     | ガラス製 直径 80                | 班 1 教師 1   | 6      | 試薬の取り出し等    | S84              | 6                |
| 71  | セラミック金網 | 磁器製 150 × 150             | 班 1 教師 1 ※ | 12     | 加熱実験        | S85              | 12               |
| 72  | 試験管ブラシ  | ナイロン製 長さ 200              | 班 1 教師 1   | 6      | 試験管の洗浄      | -                | -                |

- 注) 1 ※の品目については、消耗が激しいことから予備を倍とする。  
 2 NO.72 は要請品目はなかったが試験管の洗浄には欠かすことができないことから本計画では追加品目として整備される必要がある。

表3-10 教育機材リスト(3)

| No. | 社会科及び環境 |               |       |    |          | 要<br>請<br>番<br>号 | 要<br>請<br>数<br>量 |
|-----|---------|---------------|-------|----|----------|------------------|------------------|
|     | 品目      | 仕様概要          | 数量の根拠 | 数量 | 使用目的     |                  |                  |
| 73  | 地球儀     | 行政 300mm      | 学校1   | 1  | 地理と環境の学習 | SF1              | 3                |
| 74  | 地球儀     | 地勢 300mm      | 学校1   | 1  | 地理と環境の学習 | SF2              | 3                |
| 75  | 世界全図    | 1130 × 1300mm | 学校1   | 1  | 地理と環境の学習 | SE6              | 3                |
| 76  | 透視天体儀   | 300mm 透明天体儀   | 学校1   | 1  | 社会の星座の学習 | SE8              | 1                |

表3-10 教育機材リスト(4)

| No. | 算数                            |                      |       |    |           | 要<br>請<br>番<br>号 | 要<br>請<br>数<br>量 |
|-----|-------------------------------|----------------------|-------|----|-----------|------------------|------------------|
|     | 品目                            | 仕様概要                 | 根拠    | 数量 | 使用目的      |                  |                  |
| 77  | 面積基本平方板                       | プラスチック 25 × 25cm 何枚か | 学校1   | 1  | 面積の概念の学習  | MA1              | 5                |
| 78  | 体積基本単位学習器<br>1cm <sup>3</sup> | 木製 1cm 立方体 1000      | 学校1   | 1  | 体積の概念の学習  | MA2              | 5                |
| 79  | 時刻時間説明教具                      | 木製 40cm × 40cm       | 学校1   | 1  | 時刻の学習     | MA3              | 2                |
| 80  | 教授用時計スタンプ                     | 直径 60cm スタンプインク付き    | 生徒2   | 15 | 時刻の学習     | MA4              | 100              |
| 81  | 幾何形立体像                        | 木製、27種               | 学校1   | 1  | 立体の概念の学習  | MA6              | 5                |
| 82  | 大型分度器                         | 木製 直径 60cm           | 学年1   | 7  | 教師用説明用    | MA9              | 3                |
| 83  | 大型定規                          | 木製 1m (cm、mm)        | 学年1   | 7  | 教師説明用     | MA10             | 5                |
| 84  | 大型リカス(黒板用)                    | 木製、長さ 60cm           | 学年1   | 7  | 教師説明用     | MA11             | 5                |
| 85  | リットル                          | 透明アクリル製容器(5種類)       | 学校1   | 1  | 容の学習      | MA13             | 10               |
| 86  | 大型三角定規                        | 透明アクリル共通辺 60cm       | 学年1   | 7  | 教師用説明用    | MA14             | 10               |
| 87  | 自動上皿秤                         | 5kg、目盛り 25g          | 学校1   | 1  | 重さの学習     | MA15             | 5                |
| 88  | 多角形説明版                        | 225 × 225 11 × 11ピッチ | 班1教師1 | 6  | 多角形の概念の学習 | MA16             | 5                |
| 89  | 分数説明器                         | 木製、58 × 81cm         | 学校1   | 1  | 分数の概念の学習  | MA23             | 5                |

表3-10 教育機材リスト(5)

| No. | 体育機材       |                           |         |    |             | 要請番号 | 要請数量 |
|-----|------------|---------------------------|---------|----|-------------|------|------|
|     | 品目         | 仕様概要                      | 数量の根拠   | 数量 | 使用目的        |      |      |
| 90  | 床マット       | 6'×4'×1 1/4"              | 2/生徒15人 | 4  | 床運動の学習      | EA1  | 4    |
| 91  | スプリングボード   | カバートカバー付                  | 1/生徒30人 | 1  | 飛び箱用        | EA5  | 3    |
| 92  | 飛び箱 (小学校用) | 木製5段(1.02m)               | 1/生徒30人 | 1  | 飛び箱の学習      | EA6  | 1    |
| 93  | 平均台 (小学校用) | 木製、幅6.5cm 高さ16.5cm、24cm   | 1/生徒30人 | 1  | 平均台の学習      | EA7  | 1    |
| 94  | フック        | リクライニング式 2.4m×1.2m、組ネット付  | 1/生徒30人 | 1  | フックの学習      | EA13 | 1    |
| 95  | ハレーボール支柱   | アルミ制ネット、フッター式             | 1/生徒30人 | 1  | ハレーボールの学習   | EA19 | 2    |
| 96  | ハレーボール審判台  | 高さ1.8m 組立式                | 学校1     | 1  | ハレーボール審判    | EA22 | 1    |
| 97  | ネットボール支柱   | 高さ2.4-3m 直径50mm リフトネット一式付 | 1/生徒30人 | 1  | ネットボールの学習   | EA27 | 12   |
| 98  | バトン        | 7'×1/2" 300×32(6色)        | 5/生徒30  | 1  | バトンの学習      | EA46 | 7    |
| 99  | バドミントン用支柱  | 鉄製直径50mm リフト付 ネット一式       | 1/生徒15人 | 2  | バドミントンの学習   | EA61 | 4    |
| 100 | 卓球台        | 厚さ19mm                    | 1/生徒15人 | 2  | 卓球の学習       | EA68 | 4    |
| 101 | 卓球ネット支柱    | ネット付                      | 1/生徒15人 | 2  | 卓球台の組み立て部品  | EA69 | 8    |
| 102 | バスケットボール   | ゴール、ホース、ネット               | 学校1     | 1  | バスケットボールの学習 | EA40 | 3    |
| 103 | ボールボックス    | リフト付き 1.4m×0.6m×1.5m      | 学校1     | 1  | 屋内用ボール収納    | EA92 | 2    |
| 104 | ボールボックス    | リフト付 600×1000×1050        | 学校1     | 1  | 屋外用ボール収納    | -    | -    |
| 105 | 得点板        | 卓上得点板                     | 学校1     | 1  | 各競技の得点表     | EA23 | 5    |

表3-10 教育機材リスト(6)

| No. | 美術用機材  |                       |        |    |       | 要請番号 | 要請数量 |
|-----|--------|-----------------------|--------|----|-------|------|------|
|     | 品目     | 仕様概要                  | 数量の根拠  | 数量 | 使用目的  |      |      |
| 106 | 画板     | ボード製 45×60×0.35       | 1個/生徒  | 30 | 図画の学習 | A8   | 40   |
| 107 | 展示用ボード | 1800×900、ボール(4)足(4)付き | 1/2クラス | 3  | 図画の展示 | A13  | 8    |



表3-10 教育機材リスト(7)

| No. | 音楽機材     |                          |         |        |                 | 要<br>請<br>番<br>号 | 要<br>請<br>数<br>量 |
|-----|----------|--------------------------|---------|--------|-----------------|------------------|------------------|
|     | 品目       | 仕様概要                     | 根拠      | 数<br>量 | 使用目的            |                  |                  |
| 108 | イイトラム    | 胴木製 30×14cm ヴェル・スティック付   | 2クラス    | 2      | 太鼓でのリズムの学習/合奏用  | M1               | 4                |
| 109 | フートラム    | 胴木製 30×20 ヴェル・スティック      | 2クラス    | 2      | 太鼓でのリズムの学習/合奏用  | M2               | 2                |
| 110 | ハートラム    | 胴木製 46×25 ヴェル・スティック      | 2クラス    | 2      | 太鼓でのリズムの学習/合奏用  | M3               | 2                |
| 111 | 鍵盤ハーモニカ  | (7本) 32鍵                 | 生徒1/教師1 | 31     | 音符やリズムの学習/合奏用   | M4               | 20               |
| 112 | フーティン    | (小) 27鍵                  | 2クラス    | 2      | 音符やリズムの学習/合奏用   | M5               | 4                |
| 113 | シンバル     | 直径25cm                   | 1クラス    | 1      | リズムの学習/合奏用      | M6               | 2                |
| 114 | 鍵盤ハーモニカ  | ソプラノ ケース付き               | 生徒1/教師1 | 31     | 音符やリズムの学習/合奏用   | M7               | 40               |
| 115 | ハートラム    | 胴木製 56×25cm 支持 ヴェル・スティック | 2クラス    | 2      | 太鼓でのリズムの学習/合奏用  | M8               | 1                |
| 116 | イイトラム    | 胴木製 35×17 ヴェル・スティック      | 2クラス    | 2      | 太鼓でのリズムの学習/合奏用  | M9               | 4                |
| 117 | シンバル     | 直径18cm                   | 1クラス    | 1      | リズムの学習/合奏用      | M10              | 2                |
| 118 | シンバル     | 直径30cm                   | 1クラス    | 1      | リズムの学習/合奏用      | M11              | 2                |
| 119 | トライアングル  | 長さ20cm (打棒付)             | 6クラス    | 6      | リズムの学習/合奏用      | M12              | 12               |
| 120 | カハカリ     | 直径20cm 鈴4付               | 6クラス    | 6      | カハカリのリズムの学習/合奏用 | M13              | 20               |
| 121 | ハートカステット | 木製                       | 6クラス    | 6      | リズムの学習/合奏用      | M14              | 8                |
| 122 | ベル       | スティックベル 6個付              | 6クラス    | 6      | リズムの学習/合奏用      | M15              | 12               |
| 123 | 木琴       | 幹音13音 (半音付き)             | 6クラス    | 6      | リズムの学習/合奏用      | M16              | 1                |
| 124 | デジタルピアノ  | 49鍵 (電動式 220v)           | 1個/音楽教室 | 1      | 教師による伴奏         | M17              | 1                |
| 125 | ピアノ      | 88鍵                      | 1個/音楽教室 | 1      | 教師による伴奏         | M18              | 2                |
| 126 | リコーダー    | フルスティック ソプラノ             | 生徒1/教師1 | 31     | リズムの学習/合奏用      | M20              | 40               |
| 127 | タムタム     | 木製 40-208ビート/分           | 1個/音楽教室 | 1      | リズムの学習          | M21              | 2                |

表3-10 教育機材リスト(8)

| No. | 保健室用機材 |                                |                   |        | 要<br>請<br>番<br>号 | 要<br>請<br>数<br>量 |      |
|-----|--------|--------------------------------|-------------------|--------|------------------|------------------|------|
|     | 品目     | 仕様概要                           | 数<br>量の<br>根<br>拠 | 数<br>量 |                  |                  | 使用目的 |
| 128 | 視力検査表  | 検査距離5m ヲトノ氏環式                  | 保健室1              | 1      | 生徒の視力の検査         | EE02             | 1    |
| 129 | 座高計    | 座高30~100cm                     | 保健室1              | 1      | 身体検査             | EE03             | 1    |
| 130 | 児童体重計  | 自動体重計 最小目盛り200g                | 保健室1              | 1      | 身体検査             | EE04             | 1    |
| 131 | 身長計    | 測定範囲70~200cm                   | 保健室1              | 1      | 身体検査             | EE05             | 1    |
| 132 | 血圧計    | デジタル式                          | 保健室1              | 1      | 血圧測定             | EE06             | 1    |
| 133 | 聴診器    | (血圧測定用)                        | 保健室1              | 1      | 血圧測定用            | EE07             | 1    |
| 134 | 担架     | 7本ノイテ製 米式 持ち上げ付き<br>54cm×203cm | 保健室1              | 1      | 病人運搬             | EE11             | 1    |

2) 家具備品

本計画の教育家具・備品は下表の通りである。

表3-11 本計画校計画諸室、家具備品(1)

| 室名         | 数  | 家具備品・設備   | 数; 寸法(W*D*H)   | 備考           |
|------------|----|---|--|--------------|
| 普通教室(1~35) | 35 | 生徒用机 (大:6,7学年)<br>(中:3,4,5学年)<br>(小:1,2学年)<br>生徒用椅子 (大:6,7学年)<br>(中:3,4,5学年)<br>(小:1,2学年)<br>生徒用収納棚<br>教師用椅子(肘掛付)<br>教師用机<br>収納棚(教師用、午前午後各1)<br>黒板<br>掲示版 | 30: 600*400*720<br>15: 1100*450*490<br>15: 1000*400*440<br>30: 340*430*665<br>30: 310*445*588<br>30: 300*418*540<br>3: 1800*400*900<br>1: 390*450*920<br>1: 1200*600*760<br>2: 1200*450*1875<br>1: 3600*125*1200<br>2: 1800* *1500 | 二人掛け<br>二人掛け |
| 美術工作室      | 1  | 生徒用机(6人用)<br>生徒用スツール<br>教師用机<br>教師用椅子<br>収納棚<br>黒板<br>掲示版<br><br>洗淨用カクダ、シク  | 5: 3000*900*850<br>30: 300*300*420<br>1: 1200*600*760<br>1: 390*450*920<br>1: 1200*450*1800<br>1: 3600*125*1200<br>2: 1800* *1500<br><br>5:  | 洗淨用          |
| 準備室        | 1  | 収納棚(固定式)  |  | 建築工事         |
| 音楽室        | 1  | 生徒用机<br>生徒用椅子<br>教師用椅子(肘掛付)<br>教師用机<br>収納棚<br>黒板<br>掲示版   | 30: 600*400*580<br>3: 360*360*420<br>1: 390*450*920<br>1: 1200*600*760<br>1: 1200*450*1800<br>1: 3600*125*1200<br>2: 1800* *1500   |              |
| 準備室        | 1  | 収納棚(固定)   |  | 建築工事         |
| 理科室        | 1  | 生徒用机(6人用)<br>生徒用スツール<br>教師用デモンストラーションテーブル<br>黒板<br>掲示版<br>収納棚<br><br>実験用カクダ、シク  | 5: 3000*900*850<br>31: 300*300*420<br>1: 2400*900*850<br>1: 3600*125*1200<br>1: 1800* *1500<br>1: 1200*450*1800<br><br>5:  | 洗淨用          |
| 準備室        | 1  | 教師用机<br>教師用椅子(肘掛付)<br>収納棚<br>薬品用冷蔵庫   | 1: 1200*600*760<br>1: 390*450*920<br>3: 1800*450*1800<br>1:  |              |
| 視聴覚室       | 1  | 生徒用机<br>生徒用椅子<br>教師用椅子(肘掛付)<br>教師用机<br>収納棚<br>黒板<br>掲示版<br><br>暗幕<br>ビデオ・ビデオプロジェクター<br>ビデオプロジェクター用スクリーン   | 30: 600*400*580<br>30: 360*360*420<br>1: 390*450*920<br>1: 1200*600*760<br>1: 1200*450*1800<br>1: 3600*125*1200<br>2: 1800* *1500<br><br>1:<br>1: 3600* *2700  |              |
| 準備室        | 1  | 収納棚(固定式)  | *600   | 建築工事         |

表3-11 本計画校計画諸室、家具備品(2)

| 室名     | 数 | 家具備品・設備  | 数                                      | 寸法(W*D*H)   |                |
|--------|---|--|--|---|----------------|
| 図書室    | 1 | 読書用テーブル(6人用)<br>読書用椅子<br>書棚(5段)<br>カゴソラカ<br>カゴソラ (T6)<br>司書用机<br>司書用椅子(肘掛付)<br>収納棚 | 5<br>30<br>10<br>1<br>1<br>2<br>2<br>2 | 1800*750*700<br>360*360*420<br>1800*350*1800<br>700*450*1000<br>1800*1200*750<br>1200*600*760<br>390*450*920<br>1200*450*1800 |                |
| 体育館    | 1 | 折りたたみ椅子  | 600                                    | 462*440*735   | 鉄製             |
| ステージ   | 1 | 演台<br>舞台下椅子収納トイ(80脚用)<br>緞帳<br>吊り物用ハンガー  | 1<br>8<br>2                            | 880*650*1470<br>1000*4050*752   | 一式<br>照明、舞台美術等 |
| 倉庫     | 3 | 収納棚(固定)  |  | *600  | 建築工事           |
| ロビー    |   | 掲示板  | 4                                      | 1800* *1500   |                |
| 一般事務室  | 1 | 一般事務机<br>事務机用椅子<br>収納棚<br>職員用テーブル(3人用)<br>職員用椅子<br>折り台                             | 12<br>12<br>12<br>2<br>6<br>2          | 1000*700*700<br>390*450*920<br>1200*450*1800<br>1500*750*750<br>390*450*920<br>2400*120*1200                                  |                |
| 事務長室   | 1 | 両引出事務机(中)<br>事務長用椅子<br>本棚<br>ロッカ<br>客用椅子   | 1<br>1<br>1<br>1<br>2                  | 1400*800*700<br>680*700*900<br>900*450*1800<br>600*450*1800<br>390*450*920  |                |
| 印刷室    | 1 | 収納棚(固定式)   |  | *300  | 建築工事           |
| 給湯室    | 1 |  |  |   |                |
| 会議室    | 1 | 職員用テーブル(3人用)<br>椅子<br>折り台  | 4<br>14<br>1                           | 1500*750*750<br>390*450*920<br>2400*120*1200  |                |
| 校長室    | 1 | 応接セット<br>両引出事務机(大)<br>校長用椅子<br>本棚<br>ロッカ   | 1<br>1<br>1<br>1<br>1                  | 1600*800*700<br>680*700*900<br>900*450*1800<br>600*450*1800   |                |
| 校長用トイレ | 1 | トイレ、洗面器具一式   |  |   | 鏡、タオル掛け等       |
| 秘書室    | 1 | 一般事務机<br>事務机用椅子  | 2<br>2                                 | 1000*700*700<br>390*450*920   |                |
| 副校長室   | 1 | 両引出事務机(大)<br>副校長用椅子<br>本棚<br>ロッカ<br>客用椅子(各副校長に2脚)                                  | 2<br>2<br>2<br>2<br>4                  | 1600*800*700<br>680*700*900<br>900*450*1800<br>600*450*1800<br>390*450*920  |                |
| 教職員室   | 1 | 職員用テーブル(3人用)<br>職員用椅子<br>教職員用ロッカ(16人用)   | 18<br>54<br>7                          | 1500*750*750<br>390*450*920<br>1200*400*1850  |                |
| 教材庫    | 1 | 収納棚(固定式)   |  | *600  | 建築工事           |

表3-11 本計画校計画諸室、家具備品(3)

| 室名           | 数 | 家具備品・設備        | 数 | 寸法(W*D*H)     |    |
|--------------|---|----------------|---|---------------|----|
| 教職員休憩室       | 1 | 職員用テーブル(3人用)   | 6 | 1500*750*750  |    |
|              |   | 職員用椅子          | 6 | 390*450*920   |    |
|              |   | 冷蔵庫            | 1 |               |    |
| 主任室          | 1 | 両引出事務机(中)      | 8 | 1400*800*700  |    |
|              |   | 事務机用椅子         | 8 | 680*700*900   |    |
|              |   | 本棚             | 8 | 900*450*1800  |    |
|              |   | ロッカー           | 8 | 600*450*1800  |    |
|              |   | 客用椅子           | 8 | 390*450*920   |    |
| 相談室          | 1 | 一般事務机          | 1 | 1000*700*700  |    |
|              |   | 事務机用椅子         | 3 | 390*450*920   |    |
|              |   | 収納棚            | 2 | 1200*450*1800 |    |
| 保健室          | 1 | 一般事務机          | 1 | 1000*700*700  |    |
|              |   | 事務机用椅子         | 1 | 390*450*920   |    |
|              |   | 収納棚(事務用・薬品用各1) | 2 | 1200*450*1800 |    |
|              |   | スツール(患者用)      | 2 | 丸300*450      |    |
|              |   | ベット            | 1 | 2050*910*750  |    |
| 体育倉庫         | 1 | 収納棚(固定式)       |   | *600          |    |
| 倉庫(1),(2)    | 1 |                |   |               |    |
| 祈祷室          | 1 | 本棚(コラー用)       | 2 | 1200*450*1800 |    |
| 職員用便所(1),(2) | 2 |                |   |               | 鏡等 |
| 生徒用便所(1)~(8) | 8 |                |   |               |    |
| 体育館用便所       | 1 |                |   |               |    |
| 機械室(1),(2)   | 1 |                |   |               |    |
| 電気機械室        | 1 |                |   |               |    |
| 廊下等          | - |                |   |               |    |